

平成29年度

国立大学法人

鳴門教育大学概要

Profile of Naruto University of Education 2017



鳴門教育大学

Naruto University of Education

創設の趣旨・目的	Mission and Vision	1
アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ ディプロマポリシー	Admission Policy and Curriculum Policy and Diploma Policy	2
沿革	Chronicle	5
運営・教育研究組織	Administrative Academic Organization	8
役員	Executives and Directors	10
役員・職員数	The Number of Executives and Staff	12
教育部	School	15
附属図書館	University Library	16
教職キャリア支援センター	Center for Educational Career Development	18
長期履修学生支援センター	Center for Three-Year Master Course Study Students	18
地域連携センター	Center for Collaboration in Community	19
情報基盤センター	Center for Information Technology Services	19
小学校英語教育センター	Center for English Language Education at Elementary Schools	20
教員教育国際協力センター	International Cooperation Center for the Teacher Education and Training	21
予防教育科学センター	Center for the Science of Prevention Education	22
生徒指導支援センター	Center for School Support of Guidance and Counseling	23
心身健康センター	Center for Health and Counseling Services	24
いじめ防止支援機構	Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention)	25
附属学校	University Attached Schools	26
教育課程	Academic Programs	29
学生数	The Number of Students	30
大学院修了者数	The Number of Graduates from the Graduate School	34
学部卒業生数	The Number of Graduates from the Undergraduate Programs	35
平成29年度地域別入学状況	The Number of Matriculated Students by Areas in 2017	36
平成27年度就職状況	Employment of Graduates in Academic Year of 2015	37
収入支出予算額	Revenue and Expenditure	38
科学研究費助成事業(平成29年度)	Grants-in-Aid for Scientific Research (2017)	38
土地・建物等	Land and Buildings	39
国際交流	International Exchange Programs	40
施設開放	Open Facilities	41
福利厚生施設	University Hall and Dormitories	41
建物配置	Pictorial Overview and Campus Map	42
位置図	Location	44
所在地	Address of University and Attached Schools	45

教員には、教育者としての使命感と人間愛に支えられた豊かな教養、教育の理念と方法及び人間性に対する多面的な深い理解並びに教科・領域に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が強く求められている。

本学は、このような社会的要請に基づき、主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と、初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部をもち、学校教育に関する理論的、実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として昭和56年10月1日に創設された新しい構想の国立大学である。昭和59年4月に大学院（修士課程）の1期生を迎え、学校教育学部の1期生が入学したのは、昭和61年4月である。

平成20年度から、今日の学校と教員を巡る状況を踏まえ、養成すべき教員像を明確にし、専門性と実践力を備えた力量のある教員を養成することとし、新たに専門職学位課程（高度学校教育実践専攻）を教職大学院として設置した。

大学院学校教育研究科「修士課程」において、教科・領域等における専門性を培い、優れた教育実践を展開できる能力を、「専門職学位課程」では、幅広い視点からの問題分析力・対応力・解決力を培い、学校や地域で指導力を発揮できる力量を、それぞれ有する初等中等教育教員を養成することを目的としている。

また、「学校教育学部」においては、幼児・児童・生徒の成長と発達に関する総合的な理解にたち全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員及び中学校教員を養成することを目的としている。



Mission and Vision

Higher standards for teachers have come to be expected today in Japanese society. As educators, teachers should have not only thorough understanding of the growth and development of human beings but also sufficient knowledge, ideas, background, methods and technique to teach effectively.

Naruto University of Education was established on October 1, 1981 by the Japanese government to respond with a new approach to such social demands. The university is a new kind of University for teachers in that it is designed to retrain teachers from nation-wide schools through advanced course work and research in graduate programs as well as to produce elementary and secondary school teachers in undergraduate programs. In April of 1984, the first students were enrolled into the graduate program. The first students in the school education department entered in April of 1986.

Based on the social expectations for schools and teachers, the University established a new professional degree course as teacher education in 2008 to make investigations on teacher education and to produce the well qualified teachers having specialised knowledge and teaching competence.

Master's program aims to produce elementary and secondary school teachers who have specialized knowledge concerning the areas and subjects and enough teaching competence. Professional degree course aims to produce elementary and secondary school teachers who have problem solving abilities and will be leaders in their schools and societies.

The object of the undergraduate programs (College of Education) is to produce elementary and secondary school teachers who are well qualified for teaching in all areas and subjects on the basis of comprehensive understanding of children's growth and development.



鳴門教育大学学章

上部はNarutoのNを、下部はUniversityのUを表しています。
 上部は鳴門の島々を、下部は動的な海を表しています。
 3つに分かれた各部分が、職員、学部生、院生を意味し、一体となっている様を表しています。

The Symbol of Naruto University of Education

The upper part represents N of Naruto and the lower part represents U of University.
 The upper part symbolizes the islands of Naruto and the lower part the dynamic sea.
 Each of the three blocks of the symbol signifies the faculty, the undergraduate students, and the graduate students respectively, and the symbol as a whole represents the unity of those three.

大学院学校教育研究科 Graduate School of Education

アドミッション・ポリシー

鳴門教育大学は、「教育は国の基である」という理念のもとに、高度専門職業人としての教員の育成を目指しています。21世紀に生きる人間としての豊かな教養と地球的視野からの総合的な判断力を基盤に、子どもに対する深い愛情と教育への強い使命感を備え、教育に関する高度な専門的知識と教育実践力を有する教員の養成がその責務です。

以上の点を鑑み、本学大学院では、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。

〔修士課程〕

学校教育研究科修士課程においては、広い視野に立って精深な学識を授け、学校教育に関する諸科学の総合的、専門的研究をとおして、その理論と方法の研究能力及び教育実践の場における教育研究の推進者となりうる能力を養い、初等中等教育教員としての高度の資質と力量の涵養を図ることを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、

- ① 教育に関する専門的知識を探究し、初等中等教育教員として実践力をもつ者
- ② 教育に関する専門的知識を探究し、実践力をもった初等中等教育教員になることを志向する者を基本に選抜します。

〔専門職学位課程〕

学校教育研究科専門職学位課程（教職大学院）においては、高度専門職業人として有すべき資質能力（教育実践力、自己教育力及び教職協働力）を備え、幅広い教育課題の解決に貢献できる教員を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、

- ① 学校や地域において指導的役割を遂行できるリーダー教員となることを志向し、高度な実践力を修得しようとする者
- ② 学部段階で培われた資質能力の上に、教職に意欲的に取り組む態度、幅広い実践力を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者を基本に選抜します。

カリキュラム・ポリシー

〔修士課程〕

本学の理念・目的と修士課程の教育目標を達成するために、カリキュラムを次のような基本的な考え方に基いて編成し実践します。

(1) カリキュラムの編成

教育に関する専門職として必要な資質や能力の向上を図り、学校教育の創造に主体的に取り組むことのできる高度な実践的力を有する人材が育成できるように、「教育実践」を中核に据え、「教職教養・教育科学」、「教科専門」、「教科教育」の構造化と有機的関連を図ったカリキュラムを編成します。

(2) 教育の実施体制

各授業科目を担う本学教員が学校教育研究科における教育・研究の使命を自覚し、学校教育における高度な実践的力についての観点や内容を互いに共有し、協働する体制を構築して教育を進めます。

(3) 教育の評価体制

各授業科目では、本学の理念・目的に沿った到達目標を定め、到達目標並びに評価の基準・方法を学生に周知し、成績評価を行うとともに、学生による授業評価も実施します。その評価結果に基づいてカリキュラムの評価・改善を図ることで教育の質の保証に努めます。

〔専門職学位課程〕

本学の理念・目的と専門職学位課程の教育目標を達成するために、カリキュラムを次のような基本的な考え方に基いて編成し実践します。

(1) カリキュラムの編成

教職に関する専門的知識の幅広い学び、教育実践と理論的学習を融合させる学び、継続的な教育実践と省察を往還させる学びを展開できるように、共通科目、専門科目、実習科目を系統立てたカリキュラムに構造化します。また、新入教員及びニューリーダーからリーダーまでの養成する人材の拡充に適合した幅広いキャリアに応じたカリキュラムを編成します。

(2) 教育の実施体制

本学教員が高度専門職業人としての教員を養成する使命を自覚し、学校教員の教職実践力についての観点や内容を共有し、協働する体制で教育を進めます。また、学生の異なるキャリアにおける経験と知識と知恵の相互交流を活性化させて、学生が互いに学び研鑽し合う学習環境の調整に努めるとともに、学び続ける教員としての資質能力を習得できる支援体制を整えます。

(3) 教育の評価体制

全授業科目において、本学の理念・目的に沿い、高度専門職業人としての教員を養成するための到達目標を定め、到達目標並びに成績評価の基準・方法を学生に周知します。また、到達目標に基づき、教育課程において高度専門職業人としての教員の有すべき知識・技能を習得できたかについて本学教員・学生の双方が評価を行い、その結果を検証することによりカリキュラムの評価・改善を図り、教育の質の保証に努めます。

ディプロマ・ポリシー

〔修士課程〕

本学では、修学の成果の評価と認定に係る基準として修士課程における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を次のように定めます。

1. 本学の教育課程において、高度な実践的力として以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得していること
 - ① 自らの社会的責務を自覚し、教育及び教育を取り巻く諸課題の解決に向けて、主体的・創造的に取り組むことのできる能力
 - ② 学校教育に関する諸科学の理論と方法に関して総合かつ専門的に研究し、その成果を広く社会に発信する能力
 - ③ 課題に対する探究心と的確な自己省察に基づき、たえず自らを向上させていくことのできる能力
2. 本学の教育課程において、教育及び教育にかかわる諸課題に関する研究を深め、学位論文をまとめ、審査及び試験に合格していること

〔専門職学位課程〕

本学では、修学の成果の評価と認定に係る基準として専門職学位課程における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を次のように定めます。

1. 本学の教育課程において、所定の単位を修得し、以下に示す高度の教職実践力を習得し、専門職業人としての資質能力が養われたと判定されること
 - ① 教育実践に関する経験知・実践知とともに幅広い専門的知識や技能を活用して多様な教育課題に対応できる教育実践力
 - ② 実践の省察をふまえ、あるべき教員像に向けて自主的・継続的に学び続けることのできる教員としての自己教育力
 - ③ 自己の教育実践だけでなく、教職員と協働して、学校組織における教育活動を活性化させる教職協働力
2. 本学の教育課程において、教育課題の解決に関する理論的探究と実践研究を行い、最終成果報告書にまとめ、審査に合格していること

学校教育学部 College of Education

アドミッション・ポリシー

鳴門教育大学は、21世紀に生きる人間として豊かな教養を培い、地球的視野に立って総合的に判断できる力量の形成に努めるとともに、教育者として子どもに対する愛情と教育に対する使命感を醸成し、教育に関する専門的知識を深め、教育実践力を身につけることによって、専門職としての教員を育成することを目指しています。この目的に沿って本学では、次のような学生を求めます。
○新時代を築くにふさわしい卓越した洞察力と豊かな個性・行動力を持った有能な学生
○教員を目指すのに十分な基礎的学力を身につけ、高等学校等における教科・科目を幅広く学習し、入学後の修学に必要な知識を有する学生

幼児教育専修

現代社会の乳幼児や保護者・保育者が抱える現実的かつ具体的な問題状況、教育問題に対するおう盛な好奇心を有する者の入学を期待します。特に、学習によって得られた知識を体系化する論理的構築力と表現力を実践の場で創造的に活用しようとする意欲あふれる学生を求めます。

小学校教育専修

子どもと心を交流させ、熱意と使命感をもって教育に取り組むことができるとともに、幅広い基礎学力とおう盛な問題意識を有し、小学校教員として十分な教育実践力を身につけようとする意欲あふれる学生を求めます。

中学校教育専修

子どもと心を交流させ、熱意と使命感をもって教育に取り組むことができるとともに、おう盛な知的探究心と志望する教科の基礎学

力を有し、中学校教員となる者にとって欠かすことのできない教育実践力を身につけようとする意欲あふれる学生を求めます。

特別支援教育専修

現代の学校教育の現場では、障害や発達上の問題をかかえている多くの子どもたちが学んでいます。教員としてこうした子どもたちを支援することに深い関心を示し、愛情をもって積極的にかかわろうとする意欲あふれる学生を求めます。

本学は、上記のような学生を求めため、一般入試（前期日程及び後期日程）と推薦入試（Ⅰ型及びⅡ型）により、各専修・コースごとに入学者の選抜を行います。

一般入試（前期日程及び後期日程）と推薦入試（Ⅰ型及びⅡ型）の入学選抜においては、以下のような具体的な評価方法によって本学の学生にふさわしいかどうかを判定します。

○一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書の内容等を総合して、入学者を選抜します。
○一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験及び面接の成績、調査書の内容等を総合して、入学者を選抜します。

○推薦入試Ⅰ型では、出身学校長の推薦に基づき、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、自己推薦書、自分をアピールできる客観的資料（該当するものがある場合）及び調査書の内容、面接、実技検査の成績等を総合して、入学者を選抜します。

○推薦入試Ⅱ型では、出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、推薦書及び調査書の内容、面接、小論文又は実技検査の成績等を総合して、入学者を選抜します。

カリキュラム・ポリシー

本学の理念・目的と学部教育目標を達成するために、カリキュラムを、次のような基本的な考え方にもとづいて編成し実践します。

(1) カリキュラムの編成

豊かな教養と人間性、教育・教科等に関する専門的知識の上に立った確かな教育実践力が習得できるように、教員養成のためのコア・カリキュラムを編成します。具体的には、カリキュラムの中核として「教育実践学」を設定し、大学の授業と教育現場の実践とが連動するように展開するとともに、「教育実践学」を軸にして各授業科目を結びつけ、カリキュラム全体の構造化を図ります。

(2) 教育の実施体制

各授業科目を担う本学教員が教員養成の使命を自覚し、学校教

員の教育実践力についての観点や内容を互いに共有し、協働する体制を構築して教育を進めます。また、全教職員が連携し、課外活動や就職支援等、大学生生活全般を通じて、学生が互いに学びあい磨き合う学習環境のもとで社会人としての意識を高め、教員にふさわしい資質能力を身につけることができるよう支援体制を整えます。

(3) 教育の評価体制

各授業科目では、本学の理念・目的に沿った到達目標を定め、到達目標並びに成績評価の基準・方法を学生に周知します。また、学生が各授業科目・課外の活動等で身につけた知識・技能を統合して、教員にふさわしい資質能力を獲得できたかについて評価する基準を設け、その評価結果にもとづいてカリキュラムの評価・改善を図ることで教育の質の保証に努めます。

ディプロマ・ポリシー

本学では、修学の成果の評価と認定に係る基準として学士課程における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を次のように定めます。

学生は、本学の教育課程において、所定の単位を修得し、以下に示す教員として必要とされる資質・能力の基礎を身につけていると判定されることが求められます。

1. 教育者としての人間性

使命感・倫理観・教育的愛情・探究心・教養からなる、教職の基盤となる人間性を有している。

2. 協働力

対人関係能力・協調性・社会性を有し、教員としての職務を自覚し、多様な価値観が競合する社会集団の中で、リーダーシップを発揮しながら良好な人間関係を築くためのコミュニケーションを遂行できる。

3. 生徒指導力

公正な判断力と態度を基盤にした個人指導力・集団指導力を有し、子どもの実態を把握した円滑な支援・指導ができる。

4. 保育・授業実践力

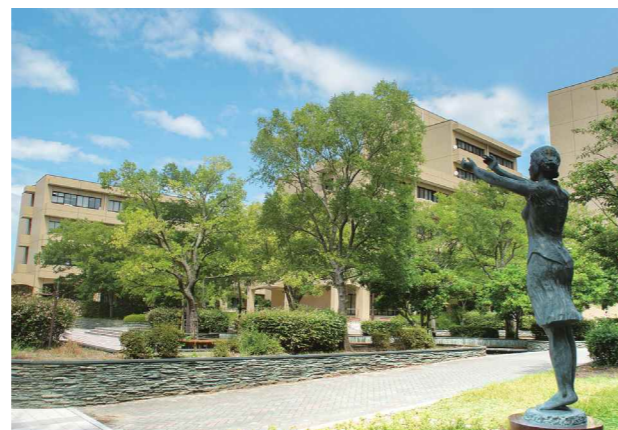
深遠な学問的知識や探究方法の理解に基づき、教科・領域内容の理解力と、保育・授業の構想・展開・評価の能力を有し、適切な学習計画・指導・評価を実践できる。

5. 省察力

変化する社会状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。



Campus

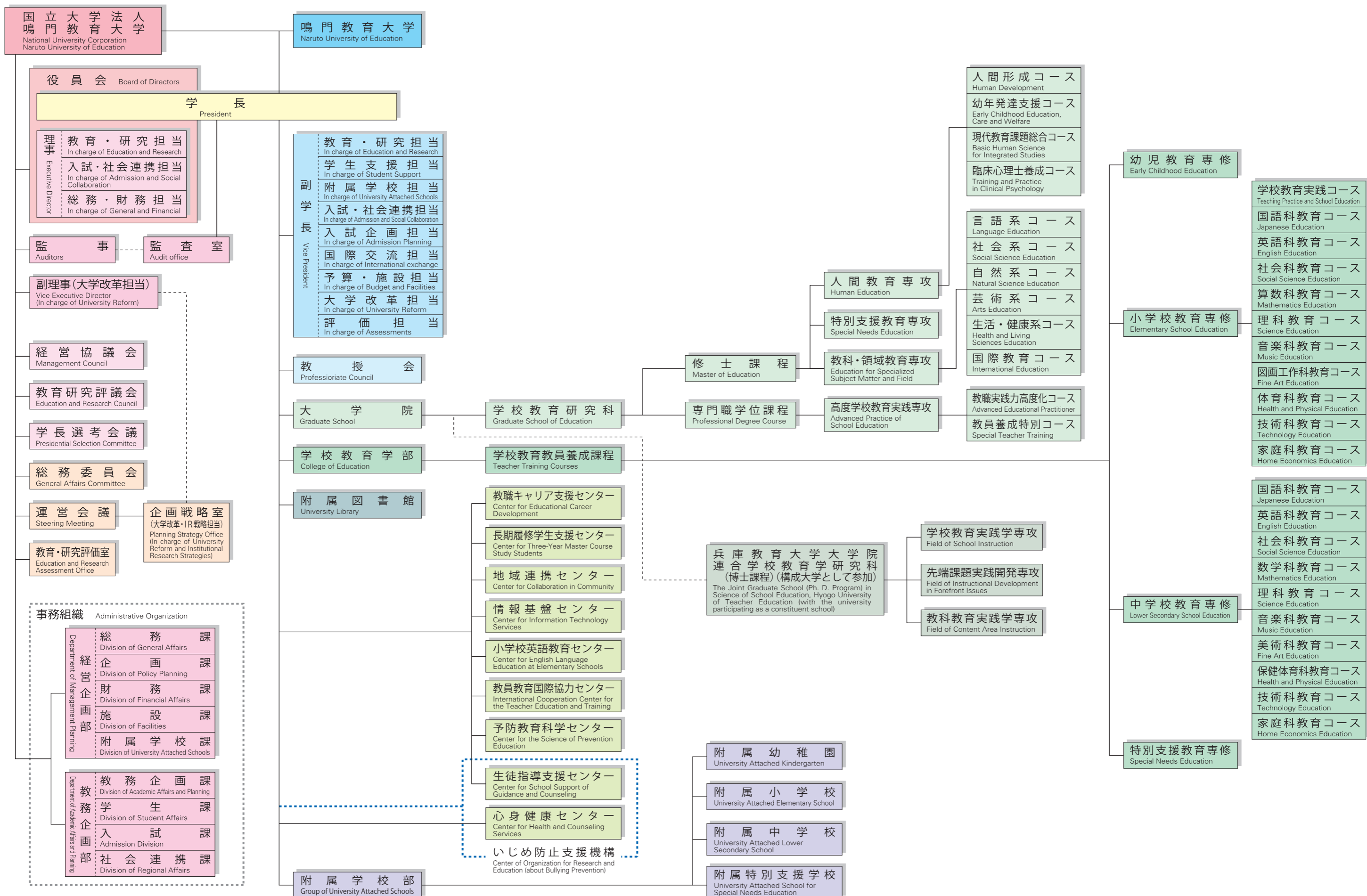


Campus

○昭和49年5月20日 May 20, 1974	文部省内の「新構想の教員養成大学等に関する調査会」が「教員のための新しい大学・大学院の構想について（報告）」を公表	“The Committee for University of Teacher Education with New Idea” at the Ministry of Education, Science and Culture (MESCC) prepared the report, “The Concept for New Undergraduate and Graduate University for Teacher Education.”
○昭和53年11月1日 November 1, 1978	徳島大学事務局内に「徳島大学鳴門教育大学創設準備室」を設置 室長に山田恵吾徳島大学長が就任	“The Office for Arrangement to Establish Naruto University of Education” was set up at the Administration Office of Tokushima University. YAMADA Kengo, the president of Tokushima University, took office as the head of the office.
○昭和54年1月10日 January 10, 1979	室長に岡 芳包徳島大学長が就任	OKA Yoshikane, the president of Tokushima University took office as the head of the office.
○昭和55年4月3日 April 3, 1980	室長に前田嘉明（大阪大学名誉教授）が就任	MAEDA Yoshiaki, the professor emeritus of Osaka University took office as the head of the office.
○昭和56年4月14日 April 14, 1981	第94回国会において成立した「国立学校設置法の一部を改正する法律（昭和56年法律第23号）」の公布により、本学が法律上設置	“The Act for National School Establishment” was partially changed at the 94th National Diet. Naruto University of Education was established as a legal entity.
10月1日 October 1	鳴門教育大学設置（開学） 学長に前田嘉明が就任 学校教育学部初等教育教員養成課程を設置（入学定員200人）（昭和61年度から学生受入れ） 事務局を徳島大学事務局構内に設置	Naruto University of Education was inaugurated. MAEDA Yoshiaki took office as the president. The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School, College of Education (Admission 200) were set up. (The enrollment started 1986.) The Administration Office was established at the office of Tokushima University.
○昭和59年1月10日 January 10, 1984	人文棟、学生宿舎（単身用1棟、世帯用1棟）竣工	The construction of the Humanities Hall and two dormitory buildings for single students and students with families were completed.
3月15日 March 15	大学会館竣工	The construction of the University Hall was completed.
4月1日 April 1	大学院学校教育研究科（修士課程）を設置（入学定員150人）、学生受入れ 〔学校教育専攻（入学定員80人） 人間形成基礎コース、教育経営コース、教育方法コース、生徒指導コース、幼児教育コース 教科・領域教育専攻（入学定員70人） 言語系コース、社会系コース〕 附属図書館を設置 事務局を人文棟に移転	The Graduate School of Education (Master Course) (Admission 150) was set up. (The enrollment started in the same year.) School Education (Admission 80) Human Development, Educational Administration, Educational Methodology, School Guidance and Counseling, Early Childhood Education Education for Specialized Subject Matter and Field (Admission 70). Language Education, Social Science Education The University Library was established. The Administration Office was moved to Humanities Hall.
4月12日 April 12	学校教育研究センターを設置	The Research Center for School Education was established.
4月23日 April 23	昭和59年度大学院学校教育研究科入学式（第1回）挙行	The first entrance ceremony for Graduate School of Education (Master Course) for 1984 academic year was held.
11月30日 November 30	学生宿舎2棟（単身用1棟、世帯用1棟）竣工	The construction of two more dormitory buildings for single students and students with families were completed.
○昭和60年3月30日 March 30, 1985	本部棟、体育館竣工	The construction of the Administration Hall and the Gymnasium were completed.
4月1日 April 1	大学院学校教育研究科（修士課程）入学定員150人を200人に改定 〔教科・領域教育専攻自然系コース（入学定員50人）増設〕	The number of students to be admitted to Graduate School of Education (Master Course) was changed from 150 to 200. The Natural Science Education Course was added to Education for Specialized Subject Matter at Graduate School of Education (Admission 50).
5月15日 May 15	講義棟竣工	The construction of the Lecture Hall was completed.
9月30日 September 30	自然棟竣工	The construction of the Sciences Hall was completed.
○昭和61年2月27日 February 27, 1986	学校教育研究センター竣工	The construction of the Research Center for School Education was completed.
3月18日 March 18	学生宿舎（単身棟1棟、世帯用1棟）竣工	The construction of two more dormitory buildings for single students and students with families were completed.
3月22日 March 22	昭和60年度大学院学校教育研究科（修士課程）学位記授与式（第1回）挙行	The first commencement for Graduate School of Education (Master Course) for 1985 academic year was held.
3月28日 March 28	健康棟、技術棟竣工	The construction of the Health Education Hall and the Technical Service Center were completed.
4月1日 April 1	大学院学校教育研究科（修士課程）入学定員200人を300人に改定 〔障害児教育専攻（入学定員30人）増設 教科・領域教育専攻芸術系コース（入学定員35人）、生活・健康系コース（入学定員35人）増設〕	The number of students to be admitted to Graduate School of Education (Master Course) was changed from 200 to 300. The Education for Disabled Children Course (Admission 30), the Arts Education Course (Admission 35), and the Health and Living Sciences Education Course (Admission 35) were added.
4月10日 April 10	昭和61年度学校教育学部入学式（第1回）挙行	The construction of The first entrance ceremony for College of Education for 1986 academic year was held.
4月22日 April 22	学校教育学部附属実技教育指導センターを設置 学校教育学部附属小学校、附属中学校、附属養護学校、附属幼稚園を設置（徳島大学教育学部附属小学校、附属中学校、附属養護学校、附属幼稚園を移管）	The Training Center for Practical Skills was established. The University attached schools were set up (Naruto University of Education took charge of former University of Tokushima attached elementary school, lower secondary school, school for special needs education, and kindergarten).
9月30日 September 30	芸術棟竣工	The construction of the Arts Hall was completed.
10月1日 October 1	開学5周年記念式典挙行	The ceremony of the fifth anniversary of inauguration was held.

○昭和62年3月10日 March 10, 1987	附属図書館竣工 学生宿舎1棟(単身用)竣工	The construction of the University Library was completed. The construction of another dormitory building for single students was completed.
4月1日 April 1	学校教育学部中学校教員養成課程を設置(入学定員70人)、学生受入れ 学校教育学部初等教育教員養成課程入学定員200人を100人に改定 保健管理センターを設置	The Teacher Training Courses for Lower Secondary (Admission 70) was set up in College of Education. (The enrollment started in the same year.) The number of students to be admitted to the Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School, College of Education (undergraduate school) was changed from 200 to 100. The Health Service Center was established.
5月30日 May 30	課外活動共用施設竣工 非常勤講師宿泊施設「高島会館」竣工	The construction of the Club House was completed. The construction of the Guest House, Takashima Kaikan was completed.
○昭和63年3月15日 March 15, 1988	学生宿舎1棟(単身用)竣工	The construction of another dormitory building for single students was completed.
4月1日 April 1	学長に今堀宏三が就任	IMAHORI Kozo took office as the president.
○平成2年3月19日 March 19, 1990	平成元年度学校教育学部卒業式(第1回)挙行	The first commencement for College of Education (undergraduate course) for 1989 academic year was held.
○平成3年10月1日 October 1, 1991	開学10周年記念式典挙行	The ceremony for the tenth anniversary of foundation was held.
○平成4年4月1日 April 1, 1992	学長に野地潤家が就任	NOJI Junya took office as the president.
4月9日 April 9	情報処理センターを設置	The Information Processing Center was established.
○平成5年8月31日 August 31, 1993	附属中学校技術棟竣工	The construction of the Technical building for practice and experiments was completed at the university attached lower secondary school.
11月26日 November 26	講堂竣工	The construction of the Auditorium was completed.
○平成6年3月30日 March 30, 1994	附属養護学校生活訓練棟竣工	The construction of Training building for daily life practice was completed at the university attached school for special needs education.
10月7日 October 7	情報処理センター竣工	The construction of the building for the Information Processing Center was completed.
○平成8年4月1日 April 1, 1996	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)に構成大学として参加 学長に野地潤家が再任	The university participated as a constituent school in the Joint Graduate School (Ph. D. Program) in the Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education. NOJI Junya was reelected as the president.
○平成9年4月1日 April 1, 1997	学生総合相談室を設置	General Counselling Services Office was established.
○平成10年4月1日 April 1, 1998	学長に溝上泰が就任	MIZOUE Yasushi took office as the president.
○平成12年4月1日 April 1, 2000	学校教育学部初等教育教員養成課程、中学校教員養成課程を学校教育学部学校教育教員養成課程に改組(入学定員100人) 学校教育研究センターを学校教育実践センターに改組	The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School and Teacher Training Courses for Lower Secondary School reorganized into Teacher Training Courses, College of Education. (Admission 100) The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School reorganized into Teacher Training Courses, College of Education. (Admission 100)
○平成13年3月15日 March 15, 2001	附属小学校多目的教室棟竣工	The construction of the building for multipurpose activity was completed at the university attached elementary school.
4月1日 April 1	大学院学校教育研究科(修士課程)専攻・コースの入学定員を改定 〔学校教育専攻(入学定員140人) 総合学習開発コース増設(入学定員30人) 障害児教育専攻(入学定員20人) 教科・領域教育専攻(入学定員140人)〕	The number of students to be admitted to Courses in Graduate School of Education (Master Course) was changed as follows; School Education (Admission 140) Basic Human Science for Integrated Studies (Admission 30). Education for Disabled Children (Admission 20). Education for Specialized Subject Matter and Field (Admission 140).
10月1日 October 1	創立20周年記念式典を挙行	The ceremony for the 20th anniversary of foundation was held.
○平成14年4月1日 April 1, 2002	学長に溝上泰が再任	MIZOUE Yasushi was reelected as the president.
○平成15年10月1日 October 1, 2003	国立大学法人法施行	The National University Corporation Laws were implemented.
○平成16年4月1日 April 1, 2004	国立大学法人鳴門教育大学設立 学長に高橋啓が就任 学校教育実践センター、附属実技教育研究指導センター、情報処理センター及び保健管理センターを総括するセンター部を設置 附属小学校、附属中学校、附属養護学校及び附属幼稚園を総括する附属学校部を設置	The National University Corporation Naruto University of Education was formed. TAKAHASHI Hajime took office as the president.
○平成17年4月1日 April 1, 2005	小学校英語教育センター、教員教育国際協力センターを設置 学校教育実践センターを地域連携センターに、附属実技教育研究指導センターを実技教育研究指導センターに、情報処理センターを高度情報研究教育センターに、保健管理センターを心身健康研究教育センターに改組	The following centers were newly established: The Center for English Language Education at Elementary Schools, and the International Cooperation Center for the Teacher Education and Training. The following centers were reorganized into new centers: The Research Center for School Education was reorganized into the Center for Collaboration in Community, the Training Center for Practical Skills was reorganized into the Research and Training Center for Practical Skills, the Information Processing Center was reorganized into the Advanced Information Research and Education Center, and the Health Management Center was reorganized into the Research, Education and Management Center for Mental and Physical Health.

○平成19年4月1日 April 1, 2007	大学院学校教育研究科障害児教育専攻を特別支援教育専攻に改称 〔学校教育専攻 生徒指導コース増設 臨床心理士養成コース改称〕 附属養護学校を附属特別支援学校に改称	School Education School Guidance and Counseling Training and Practice in Clinical Psychology
○平成20年4月1日 April 1, 2008	学長に高橋啓が再任 学校教育研究科学校教育専攻、特別支援教育専攻、教科・領域教育専攻を廃止し、学校教育研究科(修士課程)人間教育専攻、特別支援教育専攻、教科・領域教育専攻、(専門職学位課程)高度学校教育実践専攻を設置 学校教育学部学校教育教員養成課程障害児教育専修を特別支援教育専修に改称	TAKAHASHI Hajime was reelected as the president. Graduate School of Education Fields of School Education, Special Needs Education, and Education for Specialized Subject Matter and Field were abolished. Human Education, Special Support Education, Education for Specialized Subject Matter and Field at the Graduate School of Education (Master Course) and Advance Practice of School Education at the Graduate School of Education (Professional Degree Course) were instituted. The Teacher Training Courses for College of Education. Special Needs Education was renamed Special Support Education.
○平成21年1月1日 January 1, 2009	予防教育科学教育研究センターを設置	The Center for Education and Research on the Science of Preventive Education was constructed.
○平成22年4月1日 April 1, 2010	学長に田中雄三が就任 大学院学校教育研究科(修士課程)教科・領域教育専攻国際教育協力コースを国際教育コースに改称 地域連携センターの実地教育分野と実技教育研究指導センターを教職キャリア支援センターに、地域連携センターの地域連携分野を地域連携センターに再編 高度情報研究教育センターを情報基盤センターに、心身健康研究教育センターを心身健康センターに改組	TANAKA Yuzo took office as the president. The Graduate School of Education (Master Course), Education for Specialized Subject Matter and Field International Educational Cooperation Course was renamed International Education Course. The Division of Pre-service Teacher Training of the Center for Collaboration in Community, and the Research and Training Center for Practical Skills, were realigned into the Center for Educational Career Development; and the Division for Collaboration in Policy and Practice of the Center for Collaboration in Community was realigned into the Center for Collaboration in Community. The Advanced Information Research and Education Center was realigned into the Center for Information Technology Services; and the Research, Education and Management Center for Mental and Physical Health was realigned into the Center for Health and Counseling Services.
○平成23年4月1日 April 1, 2011	学校教育学部学校教育教員養成課程小学校教育専修学校教育コースを学校教育実践コースに改称	The Teacher Training Courses of Elementary School Education for College of Education. School Education Course was renamed Field of School Education Course.
10月1日 October 1	創立30周年記念学術講演会を開催	The scientific lecture for the 30th anniversary of foundation was held.
○平成24年3月31日 March 31, 2012	センター部を廃止	The Group of Centers was abolished.
4月1日 April 1	教職キャリア支援センターの長期履修学生支援分野を分離し、長期履修学生支援センターを設置	The Division of Long-term Student Support was separated from the Center for Educational Career Development and the Center for Long-Term Study Student Support was established.
5月1日 May 1	予防教育科学教育研究センターを予防教育科学センターに改称	The name of the Center for Education and Research on the Science of Preventive Education was changed to the Center for the Science of Preventive Education.
6月8日 June 8	大学図書館で初となる「学校図書館奨励賞」を附属図書館児童図書室が受賞	"School Library Prize Award" from the National School Library Association.
○平成25年4月1日 April 1, 2013	大学院学校教育研究科(専門職学位課程)高度学校教育実践専攻の学校・学級経営コース、学校臨床実践コース及び授業実践・カリキュラム開発コースの3コースを1コースとし、教職実践力高度化コースに改称	Three courses of Advanced Practice of School Education (Professional Degree Course) of Graduate School of Education (School and Classroom Administration, Practice of School Clinical Psychology, and Practice of Teaching and Curriculum Development) were united into one course and renamed Advanced Educational Practitioner.
10月7日 October 7	JICA(国際協力機構)より「国際協力感謝賞」を受賞	"JICA Recognition Award" from the Japan International Cooperation Agency (JICA).
○平成26年2月28日 February 28, 2014	総合学生支援棟(コアステーション)竣工	The construction of the General Student Services Building (Core Station) was completed.
4月1日 April 1	学長に田中雄三が再任 大学院学校教育研究科(修士課程)人間教育専攻で遠隔教育プログラム実施	TANAKA Yuzo was reelected as the president. The Distance Learning Program was instituted in the field of Human Education of the Graduate School of Education (Master of Education).
○平成27年4月1日 April 1, 2015	生徒指導支援センターを設置 いじめ防止支援機構(BP-CORE)を設置	The Center for School Support of Guidance and Counseling was established. The Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention) was established.
5月12日 May 12	県内の2拠点(阿南、美馬)に大学と地域を結ぶサテライト研修室「つながるーム」を開設	Establishment of the satellite training room "Tsunaga-Room" that connects the university with two sites (Anan, Mima) in the prefecture.
○平成28年2月1日 February 1, 2016	ラーニング・コモンズ室の設置	Installation of the Learning Commons Room.
4月1日 April 1	学長に山下一夫が就任 学生なんでも相談室の開設	YAMASHITA Kazuo took office as the president. Establishment of student Consultation Office.
10月1日 October 1	鳴門教育大学基金を創設	Establishment of the Naruto University of Education fund.
○平成29年3月21日 March 21, 2017	共同実験棟竣工	The construction of the Collaborative Teaching and Research Building was completed.
3月23日 March 23	鳴門教育大学ギャラリーを設置	The Naruto University Gallery was established.



役員 Executives



学長
President
山下 一夫 YAMASHITA Kazuo



理事・副学長
Executive Director, Vice President
大石 雅章 OISHI Masaaki



理事・副学長
Executive Director, Vice President
佐古 秀一 SAKO Hidekazu



理事・副学長
Executive Director, Vice President
岩切 健一郎 IWAKIRI Kenichiro

監事（非常勤）〔社会福祉法人緑樹会参与〕
Auditor (Part-Time) [Social Welfare Individual Group Consultant]
監事（非常勤）〔公認会計士〕
Auditor (Part-Time) [Certified Public Accountant]

近藤 芳夫
KONDO Yoshio
井関佳穂理
ISEKI Kahori

副理事・副学長 Vice Executive Director, Vice President

副理事・副学長
Vice Executive Director, Vice President
梅津 正美
UMEZU Masami
副学長
Vice President
田中 弘之
TANAKA Hiroyuki
副学長
Vice President
西村 公孝
NISHIMURA Kimitaka

副学長
Vice President
尾崎 士郎
OZAKI Shiro
副学長
Vice President
松岡 隆
MATSUOKA Takashi
副学長
Vice President
秋田 美代
AKITA Miyo

部局長等 Academic Chairs

附属図書館長 Director of University Library 大石 雅章 OISHI Masaaki	長期履修学生支援センター所長 Director of Center for Three-Year Master Course Study Students 金 貞均 KIM Jeong-Gyun
学長補佐 Assistant to the President 佐藤 勝幸 SATO Katsuyuki	地域連携センター所長 Director of Center for Collaboration in Community 阪根 健二 SAKANE Kenji
基礎・臨床系教育部長 Dean of School of Basic Research and Improvement of Practice for Education 前田 洋一 MAEDA Yoichi	情報基盤センター所長 Director of Center for Information Technology Services 伊藤 陽介 ITO Yosuke
人文・社会系教育部長 Dean of School of Humanities and Social Sciences Education 原 卓志 HARA Takuji	小学校英語教育センター所長 Director of Center for English Language Education at Elementary Schools 山森 直人 YAMAMORI Naoto
自然・生活系教育部長 Dean of School of Natural and Living Sciences Education 菊地 章 KIKUCHI Akira	教員教育国際協力センター所長 Director of International Cooperation Center for the Teacher Education and Training 小澤 大成 OZAWA Hiroaki
芸術・健康系教育部長 Dean of School of Arts and Health Education 木原 資裕 KIHARA Motohiro	予防教育科学センター所長 Director of Center for the Science of Prevention Education 山崎 勝之 YAMASAKI Katsuyuki
附属学校部長 Director of University Attached Schools 西村 公孝 NISHIMURA Kimitaka	生徒指導支援センター所長 Director of Center for School Support of Guidance and Counseling 葛西真記子 KASAI Makiko
教職キャリア支援センター所長 Director of Center for Educational Career Development 藤井伊佐子 FUJII Isako	心身健康センター所長 Director of Center for Health and Counseling Services 今田 雄三 IMADA Yuzo

部局長等 Academic Chairs

いじめ防止支援機構長 Director of Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention) 阿形 恒秀 AGATA Tsunehide	附属中学校長 Principal of University Attached Lower Secondary School 野々村拓也 NONOMURA Takuya
附属幼稚園長 Principal of University Attached Kindergarten 佐々木 晃 SASAKI Akira	附属特別支援学校長 Principal of University Attached School for Special Needs Education 井形 啓二 IKATA Keiji
附属小学校長 Principal of University Attached Elementary School 安田 哲也 YASUDA Tetsuya	

経営協議会委員 Members of the Management Council

鳴門市長 Mayor of Naruto City 泉 理彦 IZUMI Michihiko	学長 President 山下 一夫 YAMASHITA Kazuo
徳島銀行取締役会長 Chairman of the Tokushima Bank 柿内 慎市 KAKIUCHI Shinichi	理事 Executive Director 大石 雅章 OISHI Masaaki
元・文部科学審議官 Former Deputy Minister, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology 工藤 智規 KUDO Tomonori	理事 Executive Director 佐古 秀一 SAKO Hidekazu
元・全日本中学校長会副会長 Former Vice Chairman of All Japan Junior High School Principals' Association 齋藤 実徳 SAITO Minori	理事 Executive Director 岩切健一郎 IWAKIRI Kenichiro
株式会社あわわ会長 Chairman of AWAWA 坂田千代子 SAKATA Chiyoko	教授 Professor 梅津 正美 UMEZU Masami
徳島県教育委員会教育長 Director of Education Board of Tokushima Prefecture 美馬 持仁 MIMA Yoshihito	教授 Professor 秋田 美代 AKITA Miyo
徳島新聞社 理事 事業担当 事業局長・地域連携推進室長 Executive Director of The Tokushima Shimbun 吉村 昇 YOSHIMURA Noboru	

教育研究評議会評議員 Members of the Education and Research Council

学長 President 山下 一夫 YAMASHITA Kazuo	自然・生活系教育部長 Dean of School of Natural and Living Sciences Education 菊地 章 KIKUCHI Akira
理事 Executive Director 大石 雅章 OISHI Masaaki	芸術・健康系教育部長 Dean of School of Arts and Health Education 木原 資裕 KIHARA Motohiro
理事 Executive Director 佐古 秀一 SAKO Hidekazu	教授 Professor 小坂 浩嗣 KOSAKA Hirotosugu
理事 Executive Director 岩切健一郎 IWAKIRI Kenichiro	教授 Professor 井上とも子 INOUE Tomoko
副学長 Vice President 田中 弘之 TANAKA Hiroyuki	教授 Professor 太田 直也 OTA Naoya
副学長 Vice President 秋田 美代 AKITA Miyo	教授 Professor 村田 守 MURATA Mamoru
基礎・臨床系教育部長 Dean of School of Basic Research and Improvement of Practice for Education 前田 洋一 MAEDA Yoichi	教授 Professor 頃安 利秀 KOROYASU Toshihide
人文・社会系教育部長 Dean of School of Humanities and Social Sciences Education 原 卓志 HARA Takuji	

事務組織等 Administrative Organization

経営企画部 Department of Management Planning 経営企画部長 Director for Department of Management Planning 渡辺 裕人 WATANABE Hiroto	教務企画部 Department of Academic Affairs and Planning 教務企画部次長 Vice Director for Department of Academic Affairs and Planning 中野 宏栄 NAKANO Hirohide
総務課長 Head for Division of General Affairs 阿部 祐一 ABE Yuichi	教務企画課長 Head for Division of Academic Affairs and Planning 中野 宏栄 NAKANO Hirohide
企画課長 Head for Division of Policy Planning 栗尾 勇 KURIO Isamu	学生課長 Head for Division of Student Affairs 新居 忠幸 NII Tadayuki
財務課長 Head for Division of Financial Affairs 松岡 宏晃 MATSUOKA Hiroaki	入試課長 Head for Admission Division 板東 恵子 BANDO Keiko
施設課長 Head for Division of Facilities 青木 勝幹 AOKI Katsuyoshi	社会連携課長 Head for Division of Regional Affairs 内海美佐緒 UCHIMI Misao
附属学校課長 Head for Division of University Attached Schools 須藤 紋史 SUDO Ayafumi	監査室 Audit office 監査室長 Head for Audit office 河野 勉 KAWANO Tsutomu

役員数 The Number of Executives

学長 1名 理事 3名 監事(非常勤) 2名
 President 1 Executive Directors 3 Auditors (part-time) 2

職員数 The Number of Faculty and Staff

(平成29年5月1日現在)
(May 1, 2017)

区分 Description	教授 Professors		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		特命教授 Extraordinary Professors		特命准教授 Extraordinary Associate Professors		大学教員 小計 Total		研究員 Researchers		附属学校教員 Teachers at University Attached Schools												事務職員 Administration Office Staff		合計 Total				
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	計 Total				
																																校(園)長 Principals	教頭 Vice Principals	主幹教諭 Assistant Principals	指導教諭 Advising Teachers
大学院学校教育研究科 Graduate School of Education	59	12	34	17	6	2		1	3	1	1		103	33																	103	33	136		
教職キャリア支援センター Center for Educational Career Development	(5)	(1)	(4)		(1)								(10)	(1)																	(10)	(1)	(11)		
長期履修学生支援センター Center for Three-Year Master Course Study Students		(1)		(1)									(0)	(2)																(0)	(2)	(2)			
地域連携センター Center for Collaboration in Community	(1)		(1)		(2)								(4)	(0)																(4)	(0)	(4)			
情報基盤センター Center for Information Technology Services	(1)		(1)										(2)	(0)																(2)	(0)	(2)			
小学校英語教育センター Center for English Language Education at Elementary Schools			(2)	(1)		(1)							(2)	(2)																(2)	(2)	(4)			
教員教育国際協力センター International Cooperation Center for the Teacher Education and Training	(2)	(1)	(3)		(1)				(2)	(1)			(8)	(2)																(8)	(2)	(10)			
予防教育科学センター Center for the Science of Prevention Education	(2)	(1)		(2)									(2)	(3)																(2)	(3)	(5)			
生徒指導支援センター Center for School Support of Guidance and Counseling	(5)	(1)	(2)	(1)									(7)	(2)	1															1(7)	(2)	1(9)			
心身健康センター Center for Health and Counseling Services	(1)	(1)	(1)	(1)									(2)	(2)																(2)	(2)	(4)			
附属幼稚園 University Attached Kindergarten													0	0			1						1	4		1			(1)	2	5(1)	7(1)			
附属小学校 University Attached Elementary School													0	0			1		1	1			9	13		1		1	(1)	(2)	11(1)	16(2)	27(3)		
附属中学校 University Attached Lower Secondary School													0	0			1		1	1			10	12		1			(1)	13	13(1)	26(1)			
附属特別支援学校 University Attached School for Special Needs Education													0	0			1		1		1		9	18		1			(1)	(3)	12(1)	19(3)	31(4)		
事務職員・その他 Administration Office Staff and others					1								1	0																60	39	61	39	100	
合計 Total	59(17)	12(6)	34(14)	17(6)	7(4)	2(1)	0	1	3(2)	1(1)	1	0	104(37)	33(14)	1	0	4	0	2	1	2	0	1	0	29	47	0	4	0	1	60(2)	39(7)	203(39)	125(21)	328(60)

備考：()内は再掲である。

Note: The numbers in parentheses indicate the personnel who are officially classified to belong to other sections.



総合学生支援棟 (コアステーション)
General Student Services Building (Core Station)



コアステーション1F 多目的スペース
Core Station 1F Multipurpose Space

本学の教育研究及び運営を円滑に行うため、学校教育研究科、学校教育教員養成課程及び附属教育研究施設等の関連を配慮し、教員組織として4つの教育部を設けている。

なお、教職キャリア支援センター、長期履修学生支援センター、地域連携センター、情報基盤センター、小学校英語教育センター、教員教育国際協力センター、予防教育科学センター、生徒指導支援センター及び心身健康センターに兼務する教員も、それぞれの学問領域に応じ、いずれかの教育部に属することになっている。

教育部は、教員組織として置き、本学の創設の趣旨・目的に沿い、学校教育における理論的・実践的な教育研究の充実を図り、各関係専門分野の協力体制を確保し、弾力的な運営を図る。



Campus

教 育 部	学 問 領 域
基礎・臨床系教育部	教育学 心理学 医学等
人文・社会系教育部	国語科教育 英語科教育 社会科教育 人間科学等
自然・生活系教育部	数学科教育 理科教育 技術科教育 家庭科教育等
芸術・健康系教育部	音楽科教育 美術科教育 保健体育科教育等

All the academic staff included in Center for Educational Career Development, Center for Three-Year Master Course Study Students, Center for Collaboration in Community, Center for Information Technology Services, Center for English Language Education at Elementary Schools, International Cooperation Center for the Teacher Education and Training, Center for the Science of Prevention Education, Center for School Support of Guidance and Counseling and Center for Health and Counseling Services are members in one of the four schools as shown in the table.

School	
School of Basic Research and Improvement of Practice for Education	Educational Theories and Practices
	Psychology
	Medical science
School of Humanities and Social Sciences Education	Japanese Language Education
	English Language Education
	Social Studies Education
	Human Science
School of Natural and Living Sciences Education	Mathematics Education
	Science Education
	Technology and Information Education
	Home Economics Education
School of Arts and Health Education	Music Education
	Fine Arts Education
	Health and Physical Education



Campus

附属図書館は、教科書、指導書、教育関係資料ほか約35万冊の資料を所蔵している。利用者の教育・研究環境を充実させるため、平日は21時まで開館しており、土曜日、日曜日、祝日（学生休業期間中を除く）も開館し、一般市民にも広く開放している。

図書館ウェブサイトでは、蔵書検索（OPAC）、CiNii、PsycINFO、医中誌 web や約9,000タイトルに上る電子ジャーナルを提供している。

教育関係資料では、国語・教育学分野を中心とした図書（約2万5千冊）を集めた「野地潤家文庫」（野地元学長寄贈）及び著名な教育実践家であった大村はま氏寄贈の学習記録、文献等（約1万冊）を集めた「大村はま文庫」があり、学内外の研究者の利用に供している。

ラーニング・commons室は、アクティブ・ラーニング（能動的学修）などの新しい学びや、より実際に近い形で授業等が行えるスペースである。小学校の教室を再現した模擬授業エリアは、電子黒板やデジタル教科書を備えており、教員採用試験対策や模擬授業等に利用されている。

大学図書館では珍しい児童図書室は、学生・子ども・市民の交流の場として広く地域に開かれ、学生ボランティア等による子育て支援活動が行われている。学生にとっては実地教育を通じた学びの場となっている。この活動によって平成24年に全国学校図書館協議会より「学校図書館賞奨励賞」を受賞した。これは大学図書館で初の受賞である。

The University Library stores about 350,000 items including textbooks, teacher's manuals, and materials on education. It is open till 21:00 on weekdays, to provide a good educational and research environment to users. It is also open on Saturday, Sunday and national holidays (except during term vacation); and is accessible not only to students, but also to the public.

Visitors to the library's website can use book search services (OPAC), CiNii, PsycINFO, Ichu-Shi Web, and view about 9,000 electronic journals.

Two collections are available for researchers at and outside the university: One is the Noji Junya Collection, which was contributed by the former President Noji and comprises of about 25,000 books mainly in Japanese linguistics and pedagogy. The other is the Omura Hama Collection, which was contributed by Ms. Hama Omura, a famous educator and comprises of about 10,000 items of study records and materials.

The learning commons is a space where students can practice lessons in a more realistic setting and try teaching new methods such as active learning. The trial lesson area, which simulates an elementary school classroom, has an electronic blackboard and digital textbooks. This multifunctional area can also be used by students for preparing for the teacher employment examination and trial lessons.

The University Library has a section for children, called the Children's Library, which is an uncommon feature for this kind of library. The Children's Library, designed for use among students, children and citizens, is opened to various members of the local community, and also serves as a facility for the efforts of student volunteers to support child rearing. For students, the Children's Library represents a good opportunity for practical study. Through this activity, the Children's Library was awarded the "School Library Prize" from the National School Library Association in 2012. This is the first award received by a university library.

利用サービス状況

Overview of library use

(平成28年度)
(in 2016)

開館日数	Yearly open days	327
入館者数	Yearly admissions	99,687
貸出人数 Yearly checkout by personnel	教職員 Faculty and staff	1,149
	学生 Students	9,434
	一般利用者 Visitors	816
	児童図書室 Children's Library	1,007
	計 Total	12,406
貸出冊数 Yearly checkout by volumes	教職員 Faculty and staff	2,614
	学生 Students	22,727
	一般利用者 Visitors	2,797
	児童図書室 Children's Library	4,637
	計 Total	32,775
文献複写 Photoduplication service requests	受付 Form inside	2,653
	依頼 Form outside	1,023

蔵書数

Number of Books

(平成29年3月31日現在)
(in March 31, 2017)

和書 Japanese books	299,980
洋書 Books written in other languages	53,797
計 Total	353,777

雑誌種類数

Number of Periodicals

(平成29年3月31日現在)
(in March 31, 2017)

和雑誌 Japanese periodicals	3,054
洋雑誌 Periodicals written in other languages	950
計 Total	4,004



閲覧室
Reading room



野地潤家文庫・大村はま文庫
Noji Junya Collection, Omura Hama Collection



附属図書館
University Library



ラーニング・commons室
Learning commons



セミナー室
Seminar room



児童図書室
Children's Library

教職キャリア支援センターは、実地教育分野、実技能力支援分野から成り、以下のような業務を行う。

<実地教育分野>

- (1) 実地教育に関する研究並びに実地教育及び介護等体験の実施に関すること
- (2) 実地教育及び介護等体験において学生が抱える問題を解決するための指導助言等に関すること
- (3) その他実地教育及び介護等体験の円滑な履修に必要な措置に関すること

<実技能力支援分野>

- (1) 音楽教育、美術教育、体育教育、英語教育に関する実際の・技術的能力、実技指導能力等の教育支援に関すること

The Center for Educational Career Development consists of the Division of Pre-service Teacher Training and the Division of Practical Skills Support, which conduct the following activities.

Division of Pre-service Teacher Training

- (1) Conducting researches on pre-service teacher training and performing activities for pre-service teacher training and nursing care training.
- (2) Giving instructions and advice to the students so that they can solve problems they face in their pre-service teacher training and nursing care training.
- (3) Conducting other activities necessary to facilitate smooth pre-service teacher training and nursing care training.



教育実習事前指導の様子
Prior meeting of the student teaching

Division of Practical Skills Support

- (1) Giving educational assistance to the development of practical and technical competency and to the training of skills instruction in the educational fields of music, arts, health and sports, and English.

長期履修学生支援センターは、長期履修学生制度により学校教員養成プログラムを受講している学生（以下「長期履修学生」という。）及び教職大学院における小学校教員養成長期プログラムを受講している学生（以下「長期在生」という）に対する支援業務を行うことを目的とし、以下のような業務を行う。

- (1) 長期履修学生の修学指導
- (2) 長期履修学生の教育実習
- (3) 長期履修学生の生活指導
- (4) 学校教員養成プログラムの広報活動
- (5) 長期在生学生の修学支援

The Center for three-year master course study students offers support for students who are in the schoolteacher-training program. It also offers support for students who are on the three-year master's program in the professional graduate school for primary schoolteacher training.

The center offers students support in:

- (1) Scholastic guidance
- (2) Practical teaching
- (3) Lifestyle guidance
- (4) Public relations concerning the schoolteacher-training program
- (5) Learning support for three-year master's course students in the professional graduate school



演習風景
Exercise Scenery



演習風景
Exercise Scenery

地域連携センターは、地域に開かれた大学をめざして、地域貢献のみならず、学校教育の活性化と教員の資質向上を図るために、以下のような業務を行う。

- (1) 大学と学校・地域との連携に関する事業の企画・運営
- (2) 学校教育の活性化と教員の資質向上を図るための研究・支援
- (3) 遠隔講義システム（つなぐルーム）を活用した研修支援
- (4) 教師の授業力向上・ICT活用能力向上に関する研究
- (5) 学校防災教育の推進（四国5大学連携防災・減災研究教育協議会）
- (6) 産学官共同研究及び客員研究員との各種研究プロジェクトの推進
- (7) センター紀要等各種広報資料の作成・配布



「つなぐルーム」研修会の様子
(サテライト教員研修)
Tsunaga-Room Workshop
(Satellite teacher training)

The Center for Community Collaboration was opened to facilitate collaboration between the University and the community as well as local schools. The aim is to enrich educational activities and support teacher development and responsibilities include:

- (1) Planning and operating projects for collaboration among the university, schools and community.
- (2) Researching and supporting teacher and educational development.
- (3) Facilitating training through the remote lecture system(Tsunaga-Room).
- (4) Conducting research to improve teachers' instructional ability and ability to use ICT.
- (5) Promoting of school disaster prevention education (Shikoku five universities cooperation disaster prevention and mitigation research and education council).
- (6) Promoting industry-university-government joint researches and various research projects with visiting researchers.
- (7) Preparing and distributing various public relations materials such as bulletins of the centers.

情報基盤センターは、情報システム分野及び情報教育分野から成り、以下のような業務を行う。

<情報システム分野>

- (1) 情報環境改善・整備の推進に関すること
- (2) 学生及び職員の活用支援に関すること
- (3) 学内ネットワークの運営に関すること

<情報教育分野>

- (1) 情報教育のための教育支援に関すること

The Center for Information Technology Services consists of the Division of Information System and the Division of Information Education, which conduct the following activities.

Division of Information System

- (1) Promoting the improvement and development of the information environment.
- (2) Supporting students and staff in the use of the information system.
- (3) Operating the on-campus network.

Division of Information Education

- (1) Supporting information education.



教育用端末室
Educational Computer Room

小学校英語教育センターは、カリキュラム開発分野、研修・支援プログラム開発分野から構成され、各分野を中心に関連コースとの連携をはかりながら大学全体及び学外に対して以下のような業務を行う。

<カリキュラム開発分野>

- (1) 小学校英語教育指導法に関する研究及び教材開発
- (2) 小学校英語教育カリキュラムに関する研究推進
- (3) 小学校英語教育研究会の開催

<研修・支援プログラム開発分野>

- (1) 外国語活動担当教員研修プログラムの実施
- (2) 外国語活動に関する web や電話等による相談窓口の開設
- (3) 附属学校の授業支援
- (4) 遠隔教育：e-learning のコンテンツ作成及び公開

The Center for English Language Education at Elementary Schools consists of two sections, the Curriculum Development Section and the Teacher Training and Support Section. The center cooperates with related departments to provide the following services:

Curriculum Development Section

- (1) Researching and developing teaching methods or techniques for elementary school children
- (2) Developing curriculum for English language education at elementary schools
- (3) Providing forums for discussion about English language education at elementary schools

Teacher Training and Support Section

- (1) Offering in-service training for teachers
- (2) Giving assistance or counseling on English language education at elementary schools through the Internet or telephone
- (3) Supporting English lessons at the attached elementary school
- (4) Developing and publicizing e-learning material



附属小学校での授業風景
English lesson at the attached elementary school



教員研修風景
Workshop for teachers

教員教育国際協力センターは、関係諸国、機関、大学等との連携のもと、教育改善を目指す諸国・地域の国際協力事業の計画・実施・評価に関わる研究開発、実践を進めています。同時に、本学の培ってきた教員養成・現職教育の内容・方法や国際教育協力経験をもとに、社会に提案、還元することを通して、国際化に主体的に対応できる人材養成を目指しています。平成17年4月の開所以来、本学の国際協力資料のデータベース化を進めると共に、アフガニスタン、モザンビーク等への専門家派遣、南アフリカ、ラオス、大洋州諸国、サブサハラアフリカ諸国等からの研修員受入、エジプトやエチオピアの教育事情実態調査、招聘した客員教授との共同研究に取り組んでいます。

In collaboration with relevant countries, organizations, and universities, the International Cooperation Center for the Teacher Education and Training (INCET) conducts research and development regarding the planning, implementation, and evaluation of international cooperation projects abroad which aim for educational improvement. At the same time, the center aims to develop skills that can proactively respond to internationalization by sharing our accumulated knowledge of methods and programs of teacher training and in-service education, and experiences in international educational cooperation for the common good. Since INCET was founded in April 2005, the center has been working on dispatching experts to developing countries such as Mozambique and the Islamic Republic of Afghanistan, accepting trainees from various developing countries such as Lao People's Democratic Republic, the Republic of South Africa, Pacific Island States and Sub-Sahara African countries, surveying the educational situation of Ethiopia and the Arab Republic of Egypt, and conducting Joint studies with guest professors, as well as compiling a database of materials about our international cooperation activities.



モザンビーク国別研修「教員養成校における現職教員教授法改善」
Improvement of teaching methodology of IFPs on In-service education and training in Mozambique



国際教育オープンフォーラム
International Educational open forum

予防教育科学センターは、いじめ、不登校、抑うつ、生活習慣病などの問題から子どもたちの健康と適応を守るため、新しい学校予防教育を展開しています。

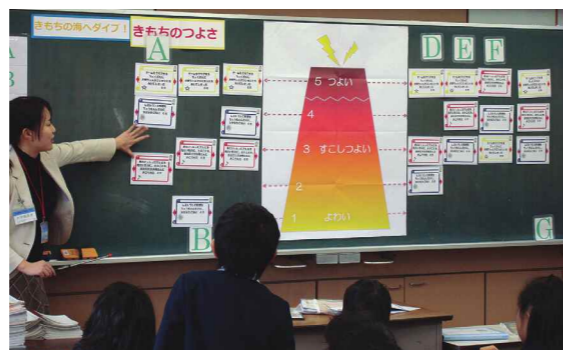
その教育は、トップ・セルフ『いのちと友情』の学校教育と呼ばれています。エビデンス（科学的根拠）に基づき実施されるこの教育は、健康・適応から学力まで、幅広く子どもたちを守り、育てます。

そして何よりも、子どもたちは、この授業を楽しみにしています！

「子どもたちの笑顔に満ちた未来のために！」 — いっしょに学び、実践しませんか。

センターでは、

- (1) 学校の先生がたのため、研修会を開いています。
- (2) この教育を学校で実践していただいています。
- (3) 国内や海外の研究者や教育者といっしょに、この教育を進めています。



予防教育「感情の理解と対処の育成」の授業光景
A scene in a class of TOP SELF for the development of understanding and regulating emotions

◇お問い合わせはこちらにどうぞ

電話：088-687-6612 ファックス：088-687-6604

メール：prevent-ctr@naruto-u.ac.jp

ホームページ：「予防教育科学」で検索！

The Center for the Science of Prevention Education has been developing and implementing a new type of school prevention education to protect children's health and adjustment against bullying, school refusal, depression, lifestyle diseases, and so on.

This education is termed "TOP SELF" (Trial Of Prevention School Education for Life and Friendship). Based on scientific evidence, it can educate children for their health, adjustment, and academic performance. We underscore that children are always looking forward to this education in their schools!

"For children's future full of smiles!" - Let's learn and implement this education together.

Our center is very active in:

- (1) Holding training sessions for teachers on a regular basis,
- (2) Having teachers implement this education in schools, and
- (3) Collaborating with domestic and overseas researchers and educators for enhancing this education.



予防教育「自己信頼心（自信）の育成」の授業光景
A scene in a class of TOP SELF for the development of self-confidence



いじめ予防教育の授業光景
A scene in a class of TOP SELF for bullying prevention

生徒指導支援センターは、「教員及び学校の生徒指導力を向上させることにより、生徒指導上の諸問題を解消すること」を目的として、以下の業務を行う。

- (1) 学部生、大学院生及び教員の生徒指導力養成カリキュラム及びプログラムの開発
- (2) 生徒指導リーダー及びいじめ防止スタッフ等の人材養成
- (3) スクールカウンセラー等の活用モデルの構築
- (4) 生徒指導に関する相談
- (5) その他、生徒指導支援に関する業務

昨年度は、「生徒指導に係わる教師力の高度化」に向けてのプログラム開発として、教材・資料集「生徒指導の理論と実践」を作成した。また、170件を超える職員研修への講師派遣、問題事象に関する検討会議への助言者派遣、関係資料の提供などを通して、教員・学校の生徒指導力向上のサポートをおこなった。

生徒指導センターの最終目的は、これらの業務により、学校現場の切実なニーズである「生徒指導分野のスーパーティーチャー」を養成することである。

The purpose of the Center for School Support of Guidance and Counseling is to resolve problems related to student guidance by improving the teachers' guidance and counseling skills.

The center focuses on the following tasks:

- (1) Development of curriculum and programs for student-support training for undergraduate and graduate students and teachers.
- (2) Training teachers in the art of providing guidance and counseling, developing leadership skills and equipping staff to effectively prevent bullying.
- (3) Construction of theoretical models utilizing school counselors and other staff.
- (4) Consultation for effective student guidance.
- (5) Overall support for student guidance.

In 2016, the center developed the program for the "Improvement of teachers' skills in school guidance and counseling" and published academic material on the "Theory and practice of school guidance and counseling." The center also conducted counseling for and provided consultation services to teachers, and organizing more than 170 lectures on this subject. The primary objective of the center is to train "specialized teachers in the field of student guidance" whose necessity in school is paramount.



ミーティングルーム
Meeting room



講演風景
A Lecture

心身健康センターは、心身医療・健康管理分野及び心理・教育相談分野から成り、以下のような業務を行う。

<心身医療・健康管理分野>

- (1) 学生及び職員の心身の健康の保持及び増進に関する研究と教育の実施
- (2) 定期健康診断と救急治療
- (3) 健康相談及び精神保健相談

<心理・教育相談分野>

- (1) 心理的問題で悩む幼児・児童・生徒・成人及びその家族に対する臨床心理的サービスの提供
- (2) 学級担任や学校長の求めに応じた、生徒指導上の問題に関する助言
- (3) 大学院生の相談活動に関する教育・訓練の実施
- (4) 就学前教育・学校教育に携わる教員に向けての研修等の活動

The Center for Health and Counseling Services has two divisions, Division for Medical Management of Mental and Physical Health and Division for Educational Guidance, Counseling, and Psychotherapy. Each division performs the following roles.

Division for Medical Management of Mental and Physical Health

- (1) Research and education to improve mental and physical health of the faculty staff and students
- (2) Management for periodic health check-ups and first aid medical treatment
- (3) Counseling for physical and mental health

Division for Educational Guidance, Counseling, and Psychotherapy

- (1) Clinical psychological counseling services to infants, children, students, adults, and their family members who suffer from psychological distress
- (2) Giving advice to homeroom teachers and principals in educational guidance and counseling
- (3) Training and educating graduate school students for the counseling skills
- (4) Planning and providing seminars for pre-school teachers and school teachers



心身健康センター
Center for Health and Counseling Services

心理・教育相談室
Counseling Room

いじめ防止支援機構は、本学の生徒指導支援センターと心身健康センターとで構成され、2つのセンターが連携協力することで、予防から対処までを連動させた新しい取組を行い、いじめ問題の改善に寄与することを目的に設置し、各センターは以下のような業務を行う。

また、「BPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）」にも参画し、他大学とも連携した取組を行う。

<生徒指導支援センター>

教員及び学校の生徒指導力を向上させたいじめ問題に対し適切に対処できる教員養成

<心身健康センター>

いじめ防止支援事業に重要な心理・教育相談分野を担当

The Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention) (BP-CORE) is constituted by the University Center for School Support of Guidance and Counseling and the Center for Health and Counseling Services, and with the two centers cooperating with each other. The BP-CORE was established for the purpose of developing new approaches to the bullying problem with regards to prevention and treatment. The two centers are to be engaged in the following tasks.

Furthermore, the BP-CORE participates in the “BP Project (Bullying Prevention Support Project)” to carry out initiatives for the problem in cooperation with other universities.

<Center for School Support of Guidance and Counseling>

Improvement of the student guidance ability for teachers as well as schools and Training for teachers who can properly cope with bullying.

<Center for Health and Counseling Services>

Responsible for psychological and educational counseling in the field of bullying prevention and support.

4 教育大学連携による
BPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）

本学は、教員養成大学の中で、地域の中核的な位置にあり、いじめ問題に関して特色ある取組を行っている宮城教育大学、上越教育大学、福岡教育大学とともに、平成27年4月20日、「BPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）」を発足させました。

このプロジェクトでは、国立教育政策研究所や日本生徒指導学会、公益社団法人日本PTA全国協議会等の関係機関・組織の協力を得て、教育委員会や学校の教育力向上のために、以下の取組を共同参加型プロジェクトとして展開し、いじめ問題の改善に寄与していきます。

本学では、いじめ防止支援機構「BP-CORE」が、このプロジェクトに主体となって取り組みます。

BP (Bullying Prevention : いじめ防止)





附属幼稚園
University Attached Kindergarten



附属小学校
University Attached Elementary School

附属学校は、大学と一体になって、教育の理論や実践に関する科学研究を行うとともに、大学の計画に従い学生の教育実習等の実施に当たることを目的に、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校及び附属特別支援学校を設置している。

併せて、附属学校においては、幼児の心身の発達を助長する保育、児童生徒の心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうちの基礎的な教育、及び小学校における教育の基礎の上に義務教育として行われる普通教育、並びに知的障害のある小学校、中学校、高等学校年齢の児童生徒に対する教育及び自立や社会参加に向けた主体的な活動のための適切な指導と必要な支援を実施している。

附属学校は、大学のある鳴門市の高島キャンパスから20キロほど離れた徳島市内に位置している。

Attached with the university are a kindergarten, an elementary school, a lower secondary school, and a school for special needs education. These attached schools work with the university to promote the development of educational theory through research, practical studies, and teaching practicums. These schools provide students with fundamental education that promotes cognitive and physical growth. The response to these developments is based on compulsory education requirements. In addition, the school for special needs education supports students from elementary through the high school levels. At this school, education focuses on enabling students to develop independence. We endeavor to help these students to integrate with their community by offering appropriate guidance and considering each student's special requirements. These attached schools are located in Tokushima city, 20 kilometers away from the university in Naruto city.



附属中学校
University Attached Lower Secondary School



附属特別支援学校
University Attached School for Special Needs Education

(平成29年5月1日現在)
(May 1, 2017)

区分 School	入学定員 Capacity per Class	総定員 Enrollment Capacity	幼児・児童・生徒数 Currently Filled						
			在(園)者数 Actual Enrollment	1学年 1st Grade	2学年 2nd Grade	3学年 3rd Grade	4学年 4th Grade	5学年 5th Grade	6学年 6th Grade
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	3歳児 26 3 Years Class	130	127	3歳児 3 Years Class	4歳児 4 Years Class	5歳児 5 Years Class	/	/	/
	4歳児 26 4 Years Class			26	52	49			
附属小学校 University Attached Elementary School	102	612	592	102	98	100	98	94	100
附属中学校 University Attached Lower Secondary School	160	480	462	152	159	151	/	/	/
附属特別支援学校 University Attached School for Special Needs Education	小学部 Elementary	(複式) Combined Class 学級定員 6	18	3	3	3	3	3	3
	中学部 Lower Secondary	6	18	6	6	6	/	/	/
	高等部 Upper Secondary	8	24	24	8	8	8	/	/



附属幼稚園
ひょうげんかい
Children's Performance day



附属小学校
創立140周年記念「附小ワールド」
140th Anniversary "Fusho World"



附属中学校
職場体験学習
Experiences in the workplace



附属特別支援学校
創立50周年記念学校祭「青年の主張」
50th Anniversary School Festival "Assertion of Youth"

大学院学校教育研究科（修士課程）

区分	内容	修了要件単位数			
		人間教育専攻	特別支援教育専攻	教科・領域教育専攻 国際教育コースを除く	国際教育コース
教職共通科目	現代の教育課題を踏まえ、教育実践の基盤として必要な教職基礎理論を総合的に身に付けることをねらいとする科目として開設する。	4単位	4単位	4単位	—
専門科目	領域等の理論的・専門的知識、教養を身に付けるとともに、教育に関連する実践的・理論的な研究能力を高めることをねらいとする科目として開設する。	12単位	12単位	12単位	12単位
教育実践コア科目	広領域科目 教育課題探究科目	4単位	4単位	2単位	—
	教科内容構成科目	—	—	2単位	—
	教育実践フィールド研究	4単位	4単位	4単位	—
	課題研究	6単位	6単位	6単位	6単位
自由選択科目（備考）		—	—	—	12単位
合計		30単位	30単位	30単位	30単位

備考：自由選択科目は、各専攻の専門科目の授業科目のうちから選択すること。

大学院学校教育研究科（専門職学位課程）

区分	内容	修了要件単位数	
		高度学校教育実践専攻 教職実践力高度化コース	教員養成特別コース
共通科目	学校現場における教育課題に対応する5領域について、事例研究等を通して実践的・体系的な知識を習得し、学校における実践場面において、リーダーシップを発揮することのできる教員としての基層的な力量の形成を図る。	18単位	18単位
専門科目	各科目群の専門性に応じた科目を設定し、実習科目との関連を図りながら学校現場の教育課程を理論的・実践的に分析し、専門職としての高度の実践的な問題解決能力・開発能力を育成する。	18単位	16単位
実習科目	共通科目、専門科目で習得をした内容をふまえ、それらの知識、技能等を学校現場で検証、修正していくことを通して、実践と理論の融合を図る。	10単位	12単位
合計		46単位	46単位

学校教育学部

区分	内容	学校教育教員養成課程 卒業要件単位数					
		幼児教育専修	小学校教育専修	中学校教育専修	特別支援教育専修	特別支援教育専修	特別支援教育専修
教養基礎科目	高等学校までの学習で獲得した知識、大学で習得する知識を関連づけ、統合して、現代社会の諸問題に主体的に向き合うことができるようにするための、学問横断的な科目を中心とした「現代社会の諸問題」領域と、心身の健康の獲得及び自己表現力とコミュニケーション能力の習得を目的とした「身体運動・表現コミュニケーション」領域の2領域において、授業科目を開設する。	20単位以上	22単位以上	22単位以上	22単位以上	22単位以上	22単位以上
教育実践コア科目	教科の成立と人間理解を通して、教師という職業について様々な側面から理解し、あるべき教師像を考える「教育実践基礎演習」と、学習指導要領を基盤とする教科内容の柱立ての理解、授業構成や指導方法、子ども理解など、教師として必要な実践的指導力を育成する「教科教育実践」で構成したもので、「教育実習」と並ぶ教育実践のためのコアとなる科目として開設する。	6単位以上	18単位以上	8単位以上	8単位以上	8単位以上	12単位以上
教職共通科目	教職に関する専門科目で、学校教育の理論的・実践的分野に関わる科目を含み、特に子どもとのふれあいを重視するための授業科目として、実地教育を開設する。	65単位以上	52単位以上	55単位以上	55単位以上	51単位以上	49単位以上
専修専門科目	学生の専修・教育コースに応じて、それぞれの分野での指導能力を高め、自分の得意分野を確立し、教育実践・教育研究を進めていく能力と態度を培うための授業科目を開設する。	33単位以上	32単位以上	33単位以上	32単位以上	38単位以上	38単位以上
卒業研究	教養基礎科目、教職共通科目及び専修専門科目などの学習を基に、学校教育の諸問題に対して、その状況を的確に把握・分析し、解決できる能力の育成を図るために、自らが課題を設定して研究を行う。	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位
合計		128単位以上	128単位以上	128単位以上	128単位以上	128単位以上	128単位以上

備考：小学校教育専修、中学校教育専修及び特別支援教育専修の学生は、この表の教養基礎科目、教育実践コア科目、教職共通科目及び専修専門科目の各欄から、合計124単位以上を修得しなければならない。

Graduate School of Education (Master of Education)

Requirements	Contents	Credits Required for Graduation			
		Human Education	Special Needs Education	Education for Specialized Subject Matter and Field Fields excluding International Education	International Education
General Studies of Education	Classes will be offered for students to synthetically obtain basic theories of education required as a basis for educational practice, considering present educational issues.	4 credits	4 credits	4 credits	—
Course Studies	Contents Studies on Education for Specialized Subject Matter and Field	12 credits	12 credits	12 credits	12 credits
	Methodology Studies on Education for Specialized Subject Matter and Field				
Core Studies in Educational Practice	Integrated Studies of Educational Issues	4 credits	4 credits	2 credits	—
	Cross Subject Approach Studies				
	Studies of Subject Content for Educational Practice	—	—	2 credits	—
Field Studies in Educational Practice	Classes will be offered for students to develop their knowledge and perspectives to respond to present educational issues, and to develop cognitive, social and affective skills as key competencies.	4 credits	4 credits	4 credits	—
	Classes will be offered for students to develop their ability to find educational issues related to several subjects and to study such issues. These aim to raise their cross-subject perspectives for education.				
Independent Studies	Classes will be offered for students to understand the meaning of learning subject contents and to learn the ideas and methods of subject studies for educational practice by integrating subject content and related science on the background of the Course of Study. This aims to develop their research skills for educational practice. The classes cover the relationships to Independent Studies, Course Studies, and child development at school.	6 credits	6 credits	6 credits	6 credits
	Classes will be offered for students to form advanced research skills for educational practices, as well as develop collaborative skills for problem-finding and problem-solving through participation in planning educational practices.				
Optional Studies (Note)		—	—	—	12 credits
Total Requirements		30 credits	30 credits	30 credits	30 credits

Note：For Optional Studies, students can choose classes freely out of the classes offered for the category of their majoring field.

Graduate School of Education (Professional Degree Course)

Requirements	Contents	Credits Required for Graduation	
		Advanced Practice of School Education Advanced Educational Practitioner	Special Teacher Training
General Studies	Classes will be offered for students to obtain practical and systematic knowledge about five related fields of educational issues in school situations through case studies, etc., and to form fundamental educational skills as teachers who can exercise leadership in practical school situations.	18 credits	18 credits
Course Studies	Classes will be offered according to the specialty of each course to foster advanced practical abilities of problem-setting and problem-solving through theoretical and practical analyses of educational curriculums in school situations by connecting with Practical Studies.	18 credits	16 credits
Practical Studies	Classes will be offered for students to integrate theory and practice by verifying and reconstructing the knowledge and skills, etc., in school situations which were obtained as the contents learned in General Studies and Course Studies.	10 credits	12 credits
Total Requirements		46 credits	46 credits

College of Education

Requirements	Contents	Teacher Training Courses Credits Required for Graduation						
		Early Childhood Education	Elementary School Education		Lower Secondary School Education		Special Needs Education	
Fundamental Studies	The goal is to integrate subject matter previously in studied in high school with new material in University for all core courses such as mathematics, social studies etc. Cross-Disciplinary courses such as Current Social Issues and Communications.	minimum 20 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits
Practical-based Studies	The goal is to develop necessary knowledge and skill for teaching. Subjects such as classroom management, teaching methodology, development of practical teaching skill.	minimum 6 credits	minimum 18 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 12 credits
General Studies	Theoretical and practical subjects of school education	minimum 65 credits	minimum 52 credits	minimum 55 credits	minimum 55 credits	minimum 51 credits	minimum 49 credits	minimum 50 credits
Specialty Studies	Classes dealing with practical skills and educational research	minimum 33 credits	minimum 32 credits	minimum 33 credits	minimum 32 credits	minimum 38 credits	minimum 38 credits	minimum 38 credits
Graduation Study	Students conduct their own research projects concerning various issues in school education, under the supervision of professors.	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits
Total		minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits

Notes: Students in the Elementary School Education, the Lower Secondary School Education, and the Special Needs Education are required to take 124 or more credits in total from Fundamental Studies, Practical-based Studies, General Studies, and Specialty Studies.

大学院学校教育研究科 Graduate School of Education (平成29年5月1日現在) (May 1, 2017)

区分 Courses and Departments	入学定員 Admission Capacity	1年次 1st grade			2年次 2nd grade			収容定員 Enrollment Capacity	合計 Grand Total				
		在学生数 Number of Students			在学生数 Number of Students				在学生数 Number of Students				
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total		
人間教育専攻 Human Education	90	人間形成コース Human Development			5	4	9	15	7	22	20	11	31
		幼年発達支援コース Early Childhood Education, Care and Welfare			4	2	6	6	7	13	10	9	19
		現代教育課題総合コース Basic Human Science for Integrated Studies			6	3	9	4	3	7	10	6	16
		臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology			13	31	44	15	28	43	28	59	87
		専攻計 Subtotal			32	45	77	50	56	106	82	101	183
		特別支援教育専攻 Special Needs Education			8	5	13	3	13	16	11	18	29
		言語系コース(国語) Language Education (Japanese)			2	1	3	15	4	19	17	5	22
		言語系コース(英語) Language Education (English)			6	9	15	10	13	23	16	22	38
		社会系コース Social Science Education			20	2	22	13	4	17	33	6	39
		自然系コース(数学) Natural Science Education (Mathematics)			1	1	2	1	1	2	2	2	4
修士課程 Master of Education	140	自然系コース(理科) Natural Science Education (Science)			10	10	20	8	3	11	18	3	21
		芸術系コース(音楽) Arts Education (Music)			3	2	5	3	2	5	6	4	10
		芸術系コース(美術) Arts Education (Fine Art)			1	1	2	2	1	3	3	2	5
		生活・健康系コース(保健体育) Health and Living Sciences Education (Health and Physical Education)			4	2	6	12	3	15	16	5	21
		生活・健康系コース(技術・工業・情報) Health and Living Sciences Education (Technology and Information Education)			7	1	8	6	1	7	13	2	15
		生活・健康系コース(家庭) Health and Living Sciences Education (Home Economics)			3	1	4	5	1	6	8	2	10
		国際教育コース International Education			1	1	2	3	3	6	4	4	8
		専攻計 Subtotal			25	11	36	55	28	83	80	39	119
		修士課程合計 Total			106	82	188	134	111	245	240	193	433
		合計 Grand Total			134	163	297	189	167	356	323	360	683

区分 Courses and Departments	入学定員 Admission Capacity	1年次 1st grade			2年次 2nd grade			収容定員 Enrollment Capacity	合計 Grand Total					
		在学生数 Number of Students			在学生数 Number of Students				在学生数 Number of Students					
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total			
専門職学位課程 Professional Degree Course	50	教職実践力高度化コース Advanced Educational Practitioner			10	22	32	17	14	31	100	27	36	63
		教員養成特別コース Special Teacher Training			10	22	32	17	14	31		27	36	63
		専攻計 Subtotal			20	44	64	34	28	62		54	72	126
		合計 Grand Total			126	107	233	169	132	301		295	239	534
		合計 Grand Total			23	35	58	27	28	55		50	63	113
		合計 Grand Total			40	19	59	90	51	141		130	70	200
		合計 Grand Total			5	4	9	6	5	11		11	9	20
		合計 Grand Total			10	8	18	11	9	20		21	17	38
		合計 Grand Total			11	9	20	10	3	13		21	12	33
		合計 Grand Total			11	9	20	10	3	13		21	12	33

在学生数
3年以上の現職教員(内数)
14条特例措置者(内数)
学校教員養成プログラム受講者【修士】(内数)又は
小学校教員養成長期プログラム受講者【専門職】(内数)
遠隔教育プログラム受講者(内数)

The number in the first column indicates the number of students.
The number in the second column indicates the number of students with three years or more teaching experience.
The number in the third column indicates the number of students who are special cases under article 14.
The number in the fourth column indicates the number of students in the school teacher training program【master】or Elementary school teacher training long-term program participants【profession】.
The number in the fifth column indicates the number of students in the Distance Learning Program.

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)(構成大学として参加)
The Joint Graduate School (Ph. D. Program) in Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education (with the university participating as a constituent school)

(平成29年5月1日現在)
(May 1, 2017)

区分 courses	入学定員 Admission Capacity	収容定員 Enrollment Capacity	在学生数 Number of Students	1年次 1st grade		2年次 2nd grade		3年次 3rd grade	
				男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
学校教育実践学専攻 Field of School Instruction	10	26	52(14)	8(1)	7(2)	4	6(2)	15(4)	12(5)
先端課題実践開発専攻 Field of Instructional Development in Forefront Issues	5	14	22(4)	2	4(1)	2	3(2)	6	5(1)
教科教育実践学専攻 Field of Content Area Instruction	17	48	69(17)	14(2)	5(2)	9(5)	8(1)	16(5)	17(2)
合計 Total	32	88	143(35)	24(3)	16(5)	15(5)	17(5)	37(9)	34(8)

備考：()内の数は、鳴門教育大学への配属学生数を内数で示す。
Note: The Numbers in parentheses indicate those of students assigned specifically to Naruto University of Education.



鳴教食堂『渦の里』
Dining Hall『UZUNOSATO』



マルチメディア教育実習室
Multimedia Education Practice Room



大学院修了者数 The Number of Graduates from the Graduate School

区分 Courses and Departments	昭和60年度～平成24年度 1985～2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	累計 Total
学校教育専攻 School Education	2,006					2,006
人間形成コース Human Development	1,225					1,225
学校改善コース School Improvement	33					33
授業開発コース Curriculum, Teaching and Learning	331					331
教育臨床コース Clinical Studies and Practice of Education	160					160
生徒指導コース School Guidance and Counseling	5					5
臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology	242					242
幼年発達支援コース Early Childhood Education, Care and Welfare	197					197
総合学習開発コース Basic Human Science for Integrated Studies	8					8
特別支援教育専攻 Special Needs Education	388					388
人間教育専攻 Human Education	343					343
人間形成コース Human Development	4					4
幼年発達支援コース Early Childhood Education, Care and Welfare	678					678
現代教育課題総合コース Basic Human Science for Integrated Studies	410					410
臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology	4					4
特別支援教育専攻 Special Needs Education	3					3
特別支援教育専攻 Special Needs Education	3					3
特別支援教育専攻 Special Needs Education	58					58
特別支援教育専攻 Special Needs Education	10					10
特別支援教育専攻 Special Needs Education	221					221
特別支援教育専攻 Special Needs Education	47					47
特別支援教育専攻 Special Needs Education	10					10
特別支援教育専攻 Special Needs Education	85					85
特別支援教育専攻 Special Needs Education	55					55
特別支援教育専攻 Special Needs Education	2					2
特別支援教育専攻 Special Needs Education	310	76	86	79	79	630
特別支援教育専攻 Special Needs Education	34	5	13	11	12	75
特別支援教育専攻 Special Needs Education	4		3		3	10
特別支援教育専攻 Special Needs Education	57	11	13	9	13	103
特別支援教育専攻 Special Needs Education	6		3		3	12
特別支援教育専攻 Special Needs Education	2		2		1	5
特別支援教育専攻 Special Needs Education	33	9	10	10	8	70
特別支援教育専攻 Special Needs Education	1		1			2
特別支援教育専攻 Special Needs Education	2				1	3
特別支援教育専攻 Special Needs Education	53	13	16	19	29	130
特別支援教育専攻 Special Needs Education	7	2	2	2	8	21
特別支援教育専攻 Special Needs Education	1		1		1	2
特別支援教育専攻 Special Needs Education	167	43	47	41	29	327
特別支援教育専攻 Special Needs Education	20	3	7	5	4	39
特別支援教育専攻 Special Needs Education	357	18	12	14	8	409
特別支援教育専攻 Special Needs Education	137	9	3	5	3	157
特別支援教育専攻 Special Needs Education	6					6
特別支援教育専攻 Special Needs Education	2,823	120	121	119	128	3,311
特別支援教育専攻 Special Needs Education	1,177	13	9	18	11	1,228
特別支援教育専攻 Special Needs Education	130	17	7	9	7	170
特別支援教育専攻 Special Needs Education	662	32	25	33	34	786
特別支援教育専攻 Special Needs Education	341	5	3	7	9	365
特別支援教育専攻 Special Needs Education	37	1	1	2		41
特別支援教育専攻 Special Needs Education	507	18	17	15	18	575
特別支援教育専攻 Special Needs Education	198	3	3	3		201
特別支援教育専攻 Special Needs Education	15		1			19
特別支援教育専攻 Special Needs Education	530	19	30	16	22	617
特別支援教育専攻 Special Needs Education	229	1	3	2		235
特別支援教育専攻 Special Needs Education	27		1			28
特別支援教育専攻 Special Needs Education	561	19	18	25	14	637
特別支援教育専攻 Special Needs Education	185	3	1	4	1	194
特別支援教育専攻 Special Needs Education	23	3	1	3	1	31
特別支援教育専攻 Special Needs Education	545	27	24	19	30	645
特別支援教育専攻 Special Needs Education	224	4	2	1	1	232
特別支援教育専攻 Special Needs Education	12	5	1			19
特別支援教育専攻 Special Needs Education	18	5	7	11	10	51
特別支援教育専攻 Special Needs Education	16	5	3	3	5	32
特別支援教育専攻 Special Needs Education	167	39	41	37	52	336
特別支援教育専攻 Special Needs Education	140	28	33	29	39	269
特別支援教育専攻 Special Needs Education	50	10				60
特別支援教育専攻 Special Needs Education	50	10				60
特別支援教育専攻 Special Needs Education	42	7				49
特別支援教育専攻 Special Needs Education	42	7				49
特別支援教育専攻 Special Needs Education	48	11				59
特別支援教育専攻 Special Needs Education	48	11				59
特別支援教育専攻 Special Needs Education			33	29	39	101
特別支援教育専攻 Special Needs Education			33	29	39	101
特別支援教育専攻 Special Needs Education	27	11	8	8	13	67
特別支援教育専攻 Special Needs Education						
特別支援教育専攻 Special Needs Education	5,663	253	260	249	267	6,692
特別支援教育専攻 Special Needs Education	2,713	55	58	63	65	2,954
特別支援教育専攻 Special Needs Education	173	17	10	9	10	219

修了者数
The number in the first column indicates those who graduate.
経験年数3年以上の現職教員(内数)
The number in the second column indicates those who have teaching experience longer than three years.
外国人留学生(内数)
The number in the third column indicates the students from foreign countries.



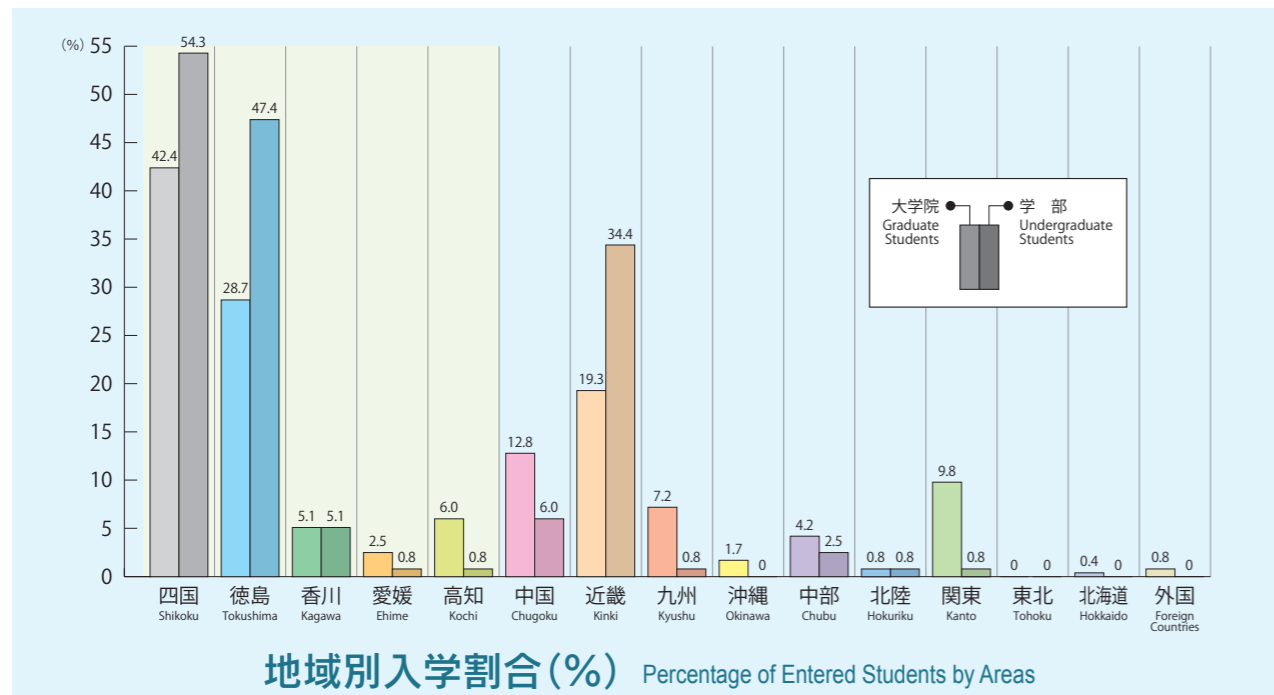
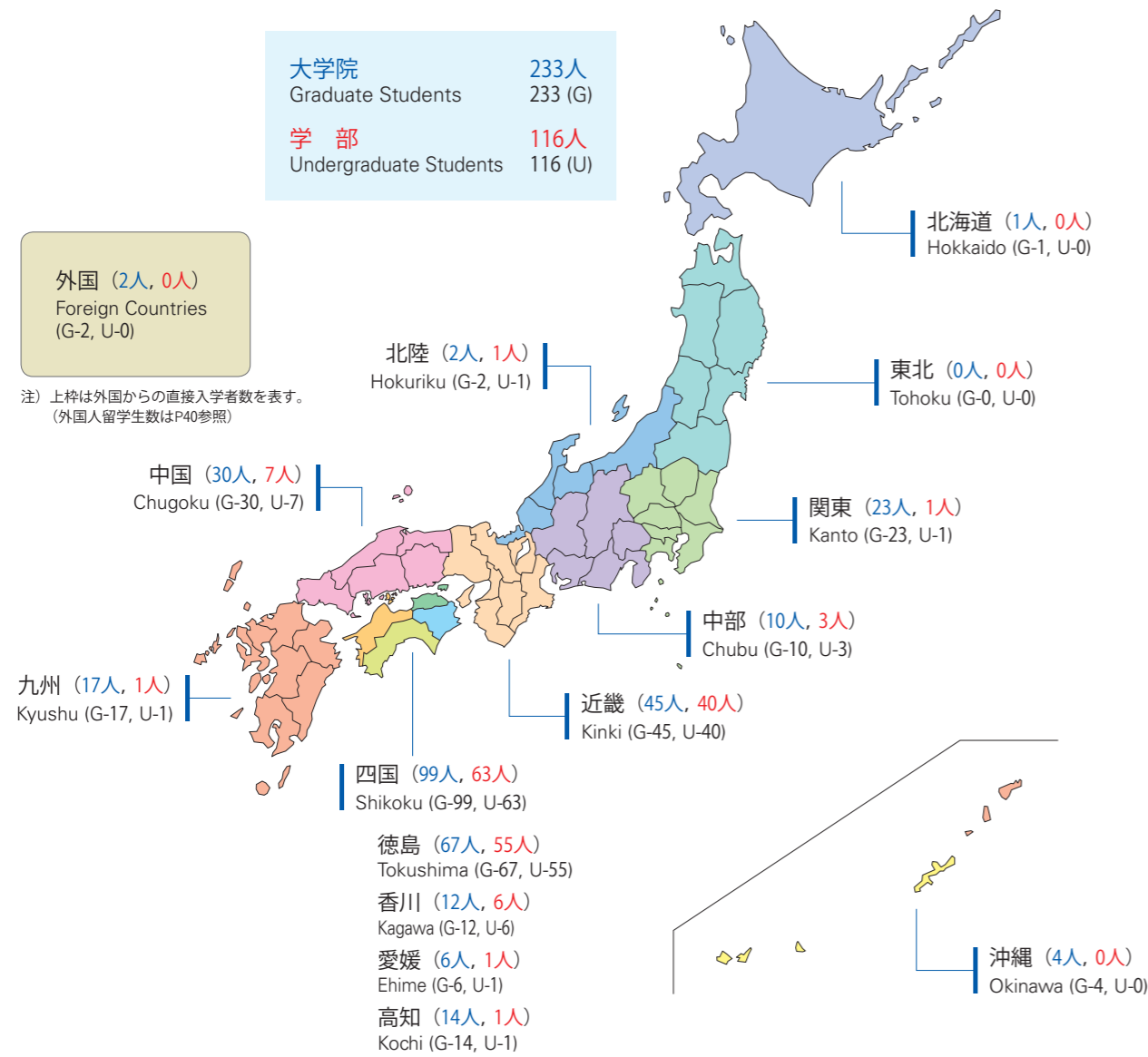
学部卒業生数 The Number of Graduates from the Undergraduate Programs

区分 Courses	元年度～24年度 1989-2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	累計 Total
初等教育専攻 Elementary School Education	250					250
幼児教育専攻 Early Childhood Education	86					86
言語系(国語科)教育コース Language Education (Japanese)	210					210
社会系(社会科)教育コース Social Science Education	198					198
自然系(算数科)教育コース Natural Science Education (Mathematics)	184					184
自然系(理科)教育コース Natural Science Education (Science)	151					151
芸術系(音楽科)教育コース Arts Education (Music)	122					122
芸術系(図画工作科)教育コース Arts Education (Fine Art)	100					100
生活・健康系(体育科)教育コース Health and Living Science Education (Health and Physical)	131					131
生活・健康系(家庭科)教育コース Health and Living Science Education (Home Economics)	76					76
計 Total	1,508					1,508
言語系(国語科)教育専攻 Language Education (Japanese)	102					102
言語系(英語科)教育専攻 Language Education (English)	100					100
社会系(社会科)教育専攻 Social Science Education	107					107
自然系(数学科)教育専攻 Natural Science Education (Mathematical)	103					103
自然系(理科)教育専攻 Natural Science Education (Science)	102					102
芸術系(音楽科)教育専攻 Arts Education (Music)	78					78
芸術系(美術科)教育専攻 Arts Education (Fine Art)	81					81
生活・健康系(保健体育科)教育専攻 Health and Living Science Education (Health and Physical)	95					95
生活・健康系(技術科)教育専攻 Health and Living Science Education (Technology)	94					94
生活・健康系(家庭科)教育専攻 Health and Living Science Education (Home Economics)	82					82
計 Total	944					944
計 Total	2,452					2,452
幼児教育専攻 Early Childhood Education	58	5	5	5	5	78
学校教育コース School Education	79	7	—	—	—	86
学校教育実践コース Teaching Practice and School Education	—	—	8	8	7	23
国語科教育コース Japanese Education	80	8	7	7	8	110
英語科教育コース English Education	33	5	5	2	3	48
社会科教育コース Social Science Education	55	6	4	4	4	73
算数科教育コース Mathematics Education	63	7	5	3	4	82
理科教育コース Science Education	48	6	7	5	4	70
音楽科教育コース Music Education	31	4	3	4	3	45
図画工作科教育コース Fine Art Education	26	3	5	4	2	40
体育科教育コース Health and Physical Education	56	5	6	6	5	78
技術科教育コース Technology Education	33	4	4	2	3	46
家庭科教育コース Home Economics Education	36	3	4	5	4	52
国語科教育コース Japanese Education	51	5	5	5	5	71
英語科教育コース English Education	51	6	4	5	8	74
社会科教育コース Social Science Education	58	7	5	6	6	82
数学科教育コース Mathematics Education	58	6	6	7	6	83
理科教育コース Science Education	53	3	7	5	7	75
音楽科教育コース Music Education	37	3	5	3	3	51
美術科教育コース Fine Art Education	35	3	4	2	4	48
保健体育科教育コース Health and Physical Education	40	3	3	3	3	52
技術科教育コース Technology Education	37	4	3	4	3	51
家庭科教育コース Home Economics Education	38	4	3	4	3	52
障害児教育専攻 Special Needs Education	48	—	—	—	—	48
特別支援教育専攻 Special Needs Education	5	5	6	5	6	27
計 Total	1,109	112	114	104	106	1,545
計 Total	3,561	112	114	104	106	3,997



平成29年度地域別入学状況

The Number of Matriculated Students by Areas in 2017



平成27年度就職状況

Employment of Graduates in Academic Year of 2015

大学院修了者 Graduates from the Graduate School in Academic Year of 2015 (平成28年9月30日現在)

区分	修了者数	教員就職者							教員以外の就職者	進学者	その他
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	小計			
学校教育研究科	185	2(2)	39(19)	36(25)	20(10)	7(4)	8(5)	112(65)	58	2	13

備考：現職教員を除く。() 内の数は、期限付教員を内数で示す。
Note: Teachers in active service are excluded. The number in parentheses shows the number of part time teachers.

学部卒業生 Graduates from the Undergraduate Programs in Academic Year of 2015 (平成28年9月30日現在)

区分	卒業生数	教員就職者							保育士	教員・保育士以外の就職者	進学者	その他
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	小計					
学校教育学部	104	2	57(15)	17(6)	2(2)	1(1)	79(24)	4	8	11	2	

備考：() 内の数は、期限付教員を内数で示す。
Note: The number in parentheses shows the number of part time teachers.

※平成29年3月卒業生及び修了者の就職状況については、平成29年9月30日に確定します。

The employment rate of graduates from our university and graduate school as of March 2017 will be published on September 30, 2017.



平成29年度予算

(単位：百万円)

区分	金額	区分	金額
収入		支出	
運営費交付金	3,288	業務費	3,980
施設整備費補助金	90	教育研究経費	3,980
補助金等収入	13	施設整備費	110
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	補助金等	13
自己収入	692	産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	107
授業料、入学金及び検定料収入	615		
財産処分収入	0		
雑収入	77		
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	107		
目的積立金取崩	0		
計	4,210	計	4,210

[人件費の見積り] 期間中総額3,069百万円を支出する(退職手当は除く)。

科学研究費助成事業 (平成29年度)
Grants-in-Aid for Scientific Research (2017)

平成29年度採択状況 (2017)

(平成29年5月1日現在)
(May 1, 2017)

研究種目 Research Areas	申請件数 Number of Proposals	採択件数 Number of Accepted Proposals	採択率 Acceptance Rate	交付額 Granted Amounts	
				直接経費 Direct Expenses	間接経費 Indirect Expenses
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	2	1	50.0	38,400,000	11,520,000
基盤研究 (A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)	0	0	0.0	—	—
基盤研究 (B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	6	2	33.3	8,700,000	2,610,000
基盤研究 (C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	57	30	52.6	27,300,000	8,190,000
挑戦的研究 (萌芽) Grant-in-Aid for Challenging Research (Exploratory)	4	—	—	—	—
若手研究 (A) Grant-in-Aid for Young Scientists (A)	0	0	0.0	—	—
若手研究 (B) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	10	7	70.0	4,000,000	1,200,000
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	3	—	—	—	—
小計	82	40	48.8	78,400,000	23,520,000
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	7	0	0.0	—	—
合計	89	40	44.9	78,400,000	23,520,000

*申請件数及び採択件数は、継続分と新規分を合わせた数とする。

*申請件数及び採択件数には、転出者2名を含む。

*挑戦的研究(萌芽)の採択結果は7月中旬、研究活動スタート支援の採択結果は8月下旬となる。

区分 Description	土地 (m ²) Land (m ²)	建物 (延面積 m ²) Building (Total area, m ²)	
学校教育学部 College of Education	239,077	人文棟 Humanities Hall	7,243
		自然棟 Sciences Hall	7,535
		技術棟 Technical Service Center	209
		健康棟 Health Education Hall	2,594
		芸術棟 Arts Hall	5,742
		講義棟 Lecture Hall	3,719
		附属図書館 University Library	3,138
		総合学生支援棟(コアステーション) General Student Services Building (Core Station)	1,833
		本部棟 Administration Hall	2,458
		地域連携センター Center for Collaboration in Community	2,436
		体育館 Gymnasium	2,274
		課外活動共用施設 Club House	505
		講堂 Auditorium	1,085
		大学会館 University Hall	1,840
		非常勤講師宿泊施設 Guest House	426
		艇庫 Boathouse	99
		設備棟 Maintenance Building	595
		情報基盤センター Center for Information Technology Services	480
		弓道場 Archery Range	128
		共同実験棟 Collaborative Teaching and Research Building	280
		その他 Others	760
計 Total		45,379	
学生宿舎 Dormitories	26,413	学生宿舎 Dormitories	11,085
		その他 Others	80
		計 Total	11,165
職員宿舎 Residence for faculty and staff	11,754	職員宿舎 Residence	8,251
		その他 Others	64
		計 Total	8,315
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	2,122	園舎 Schoolhouse	884
		その他 Others	0
		計 Total	884
附属小学校 University Attached Elementary School	20,373	校舎 Schoolhouse	5,575
		体育館 Gymnasium	963
		その他 Others	143
		計 Total	6,681
附属中学校 University Attached Lower Secondary School	18,001	校舎 Schoolhouse	4,863
		体育館 Gymnasium	1,071
		その他 Others	132
		計 Total	6,066
附属特別支援学校 University Attached School for Special Needs Education	8,843	校舎 Schoolhouse	3,898
		体育館 Gymnasium	420
		その他 Others	157
		計 Total	4,475
合計 Grand Total	326,583		82,965



人文棟
Humanities Hall



自然棟
Sciences Hall



芸術棟
Arts Hall



健康棟
Health Education Hall

大学間交流協定締結校 Agreement of International Academic Exchange (平成29年5月1日現在) (May 1, 2017)

国名 Names of Countries	大学名 Names of Universities	協定締結年月日 Dates of Agreement	国名 Names of Countries	大学名 Names of Universities	協定締結年月日 Dates of Agreement
大韓民国 Korea	京仁教育大学校 Gyeongin National University of Education	平成7年5月11日 May 11, 1995	タイ王国 Thailand	コンケン大学 Khon Kaen University	平成18年3月6日 March 6, 2006
アメリカ合衆国 United States of America	ピュージェット・サウンド大学 University of Puget Sound	平成7年7月28日 July 28, 1995	アメリカ合衆国 (コンソーシアム) United States of America	ノースカロライナ大学ウィルミントン校 University of North Carolina at Wilmington	平成18年7月7日 July 7, 2006
中華人民共和国 China	南開大学 Nankai University	平成8年5月7日 May 7, 1996		イーストカロライナ大学 East Carolina University	
大韓民国 Korea	釜山大学校師範大学・教育大学院 College of Education and Graduate School of Education at Pusan National University	平成11年3月31日 March 31, 1999		ウェスタンカロライナ大学 Western Carolina University	
中華人民共和国 China	青島大学 Qingdao University	平成12年8月1日 August 1, 2000	台湾 Taiwan	台北市立大学 University of Taipei	平成22年9月3日 September 3, 2010
南アフリカ共和国 South Africa	プレトリア大学 University of Pretoria	平成14年7月17日 July 17, 2002	大韓民国 Korea	光州教育大学校 Gwangju National University of Education	平成23年5月23日 May 23, 2011
タイ王国 Thailand	シーナカリンウィロート大学 Srinakharinwirot University	平成15年6月20日 June 20, 2003	フィンランド共和国 Finland	タンペレ大学教育学部 School of Education University of Tampere	平成26年9月26日 September 26, 2014
中華人民共和国 China	北京師範大学 Beijing Normal University	平成16年9月27日 September 27, 2004	モザンビーク共和国 Mozambique	モザンビーク教育大学 Pedagogical University of Mozambique	平成29年3月9日 March 9, 2017

協定締結校との学生短期留学状況
The Number of Exchange Students to and from Sisters Universities

区分 Description	平成25年度まで ~2013		平成26年度 2014		平成27年度 2015		平成28年度 2016		累計 Total	
	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch
京仁教育大学校 Gyeongin National University of Education	31	15					1		31	16
南開大学 Nankai University	15	12							15	12
釜山大学校師範大学・教育大学院 College of Education and Graduate School of Education at Pusan National University	2	1					1		2	2
青島大学 Qingdao University	13		2		2		2		19	0
プレトリア大学 University of Pretoria	7	2							7	2
シーナカリンウィロート大学 Srinakharinwirot University	15		2		2		2		21	0
北京師範大学 Beijing Normal University	3	1					1		4	1
コンケン大学 Khon Kaen University	10	2			1				11	2
ノースカロライナ大学ウィルミントン校 University of North Carolina at Wilmington							1		0	1
イーストカロライナ大学 East Carolina University		2							0	2
ウェスタンカロライナ大学 Western Carolina University	1	3	1		1				1	5
台北市立大学 University of Taipei	3		2		1		1		7	0

外国人留学生 Foreign Students (平成29年5月1日現在) (May 1, 2017)

区分 Description	ミャンマー Myanmar	タイ Thailand	中国 China	パキスタン Pakistan	バングラデシュ Bangladesh	マラウイ Malawi	キリバス Kiribati	サモア Samoa	ソロモン諸島 Solomon Islands	パプアニューギニア Papua New Guinea	フィジー Fiji	計 Total
大学院学生 Graduate Students			1									1
博士課程 Doctor's Course			1									1
修士課程 Master's Course	1		14				1	1		4	1	22
教員研修留学生 Teacher Trainees				1	1	1			1			4
研究生 Research Students			1									1
大学院 Graduate			1									1
学部 Undergraduate												0
特別聴講生 Exchange Students		2	3									5
科目等履修生 Credit-seeking Students												0
合計 Total	1	2	19	1	1	1	1	1	1	4	1	33

備考：博士課程は本学に付属された兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所学生である。

地域社会における体育活動に役立てていただくため、昭和62年度から体育施設を開放している。
Some of the university facilities have been opened to people who live in this area since 1987.

開放状況 (平成28年度)

施設名	件数	時間数
テニスコート	58	86
野球場	22	132
体育館(柔道場)	2	22
陸上競技場	0	0

Overview of the Use of the Facilities in Academic Year of 2016

Facilities	Number of uses	Total hours
Tennis courts	58	86
Baseball field	22	132
Gymnasium (Jyudo)	2	22
Athletics field	0	0

福利厚生施設 University Hall and Dormitories

大学会館 University Hall

学生及び教職員の福利厚生に資するとともに、学生の課外活動を促進するために大学会館を設置している。

University Hall is established for the convenience and recreation of the students and staff, and for the promotion of the students' extracurricular activities.

階別 Floor and Total Area	室名 Name of Provision	室面積 Area	内容 Description
1階 1st floor 延739m ²	第1食堂 1st cafeteria	391m ²	朝・昼・夜の食事等 (298席) Serving breakfast and lunch (298 seats).
	売店 Shop	176m ²	書籍・文具類・日用品・食料品・コピーサービス等 Book, stationery, notions, and grocery. Available Photoduplication services.
2階 2nd floor 延650m ²	第2食堂 2nd cafeteria	75m ²	予約営業 For banquet
	第1集会室 1st conference room	35m ²	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars
3階 3rd floor 延405m ²	第2集会室 2nd conference room	43m ²	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars
	第3集会室 3rd conference room	77m ²	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars
	第4集会室(和室) 4th conference room (Japanese style)	56m ²	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars



大学会館
University Hall

学生宿舎 Dormitories

学生の勉学のための生活環境を提供するために、学生宿舎を設置している。
Dormitories are available for the convenience of students.

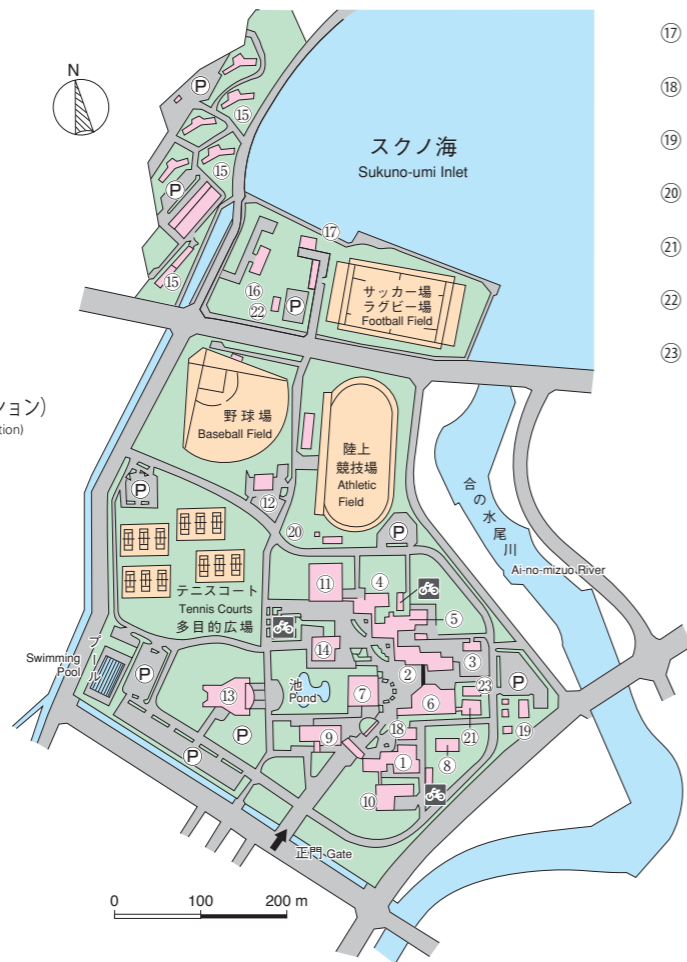
区分 Dormitories for	棟数 No. of Bldgs.	室(戸)数 No. of Rooms	1室(戸)当たり面積 Area/Room	寄宿料(月額) Rental fee (monthly)
単身用学生宿舎(男子) Single men	2	160室	約 10m ²	4,300円
単身用学生宿舎(女子) Single women	3	240室	約 10m ²	4,300円
世帯用学生宿舎 Students with families	1	40戸	約 40m ²	9,500円
	1	40戸	約 52m ²	11,900円

備考：寄宿料は、平成29年4月1日現在
Note: Rental fee rate on April 1, 2017



学生宿舎
Dormitories

- ① 人文棟
Humanities Hall
- ② 自然棟
Sciences Hall
- ③ 技術棟
Technical Service Center
- ④ 健康棟
Health Education Hall
- ⑤ 芸術棟
Arts Hall
- ⑥ 講義棟
Lecture Hall
- ⑦ 附属図書館
University Library
- ⑧ 総合学生支援棟 (コアステーション)
General Student Services Building (Core Station)
- ⑨ 本部棟
Administration Hall
- ⑩ 地域連携センター
Center for Collaboration in Community
- ⑪ 体育館
Gymnasium
- ⑫ 課外活動共用施設
Club House
- ⑬ 講堂
Auditorium
- ⑭ 大学会館
University Hall
- ⑮ 学生宿舎
Dormitories
- ⑯ 非常勤講師宿泊施設
Guest House

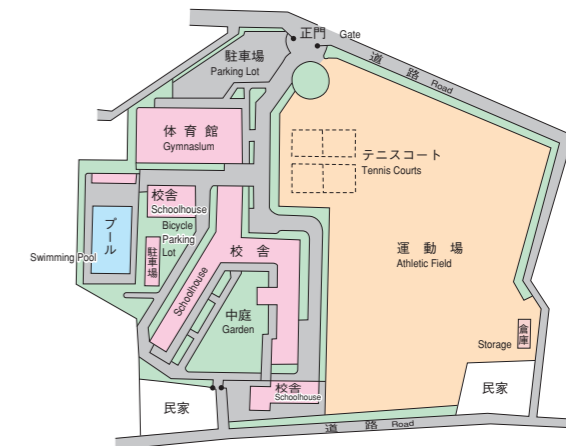


- ⑰ 艇庫
Boathouse
- ⑱ 設備棟
Maintenance Building
- ⑲ 廃水、廃液処理施設
Sewerage and Waste Water Disposal
- ⑳ 実験圃場
Experimental Farm
- ㉑ 情報基盤センター
Center for Information Technology Services
- ㉒ 弓道場
Archery Range
- ㉓ 共同実験棟
Collaborative Teaching and Research Building

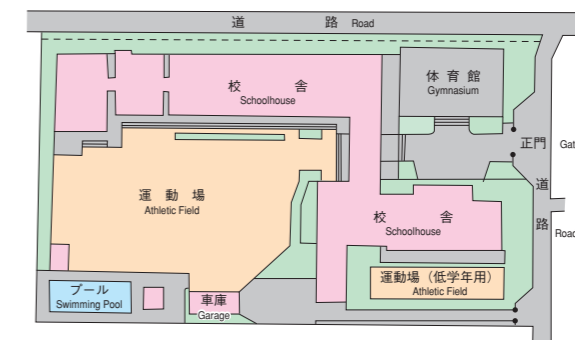
附属幼稚園・附属小学校
University Attached Kindergarten and Elementary School



附属中学校
University Attached Lower Secondary School



附属特別支援学校
University Attached School for Special Needs Education



大学全景
Aerial View of the Campus



附属幼稚園・附属小学校
University Attached Kindergarten and Elementary School



附属中学校
University Attached Lower Secondary School



附属特別支援学校
University Attached School for Special Needs Education

位置図 Location



交通機関 Transportation

- 飛行機 Airplane**
 - 東京(羽田)～徳島 [約1時間10分] Tokyo (Haneda)-Tokushima [70 minutes]
 - 福岡～徳島 [約1時間30分] Fukuoka-Tokushima [1.5 hours]
- 鉄道 Railway**
 - 岡山～池谷(特急) [約2時間] Okayama-Ikenotani (Express) [2 hours]
 - 高松～池谷(特急) [約1時間] Takamatsu-Ikenotani (Express) [1 hour]
- 高速バス Express Bus**
 - 東京～高速鳴門(夜行) [約9時間] Tokyo-Naruto [9 hours]
 - 名古屋～高速鳴門 [約4時間30分] Nagoya-Naruto [4.5 hours]
 - 京都～高速鳴門 [約2時間30分] Kyoto-Naruto [2.5 hours]
 - 大阪～高速鳴門 [約2時間] Osaka-Naruto [2 hours]
 - 神戸～高速鳴門 [約1時間30分] Kobe-Naruto [1.5 hours]
- フェリー Ferryboat**
 - 和歌山～徳島 [約2時間] Wakayama-Tokushima [2 hours]

徳島阿波おどり空港から From Tokushima Awaodori Airport



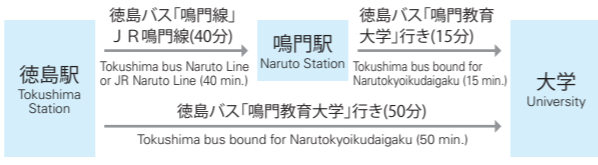
高速鳴門バス停から From Naruto Expressway Bus Stop



J R池谷駅から From JR Ikenotani Station



J R徳島駅から From JR Tokushima Station



所在地 Address of University and Attached Schools

名称	所在地	電話番号
事務組織 大学院学校教育研究科 学校教育学部 附属図書館 教職キャリア支援センター 長期履修学生支援センター 地域連携センター 情報基盤センター 小学校英語教育センター 教員教育国際協力センター 予防教育科学センター 生徒指導支援センター 心身健康センター いじめ防止支援機構	〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地	☎088-687-6000 (代表) FAX 088-687-6040
学生宿舎	〒772-0051 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島99番地の7	
附属幼稚園	〒770-0808 徳島県徳島市南前川町2丁目11番地の1	☎088-652-2349 FAX 088-625-1995
附属小学校	〒770-0808 徳島県徳島市南前川町1丁目1番地	☎088-623-0205 (代表) FAX 088-655-6414
附属中学校	〒770-0804 徳島県徳島市中吉野町1丁目31番地	☎088-622-3852 (代表) FAX 088-652-2364
附属特別支援学校	〒770-0803 徳島県徳島市上吉野町2丁目1番地	☎088-653-0151 (代表) FAX 088-625-1992
職員宿舎	〒772-0022 徳島県鳴門市里浦町粟津字西開168番地の2	

日本国外から連絡する場合には、国別コード“81”を付けるとともに、市外局番の“0”を取って使用してください。例えば代表番号は81-88-687-6000となります。

Facilities	Address	Phone Number
Administrative Organization Graduate School of Education College of Education University Library Center for Educational Career Development Center for Three-Year Master Course Study Students Center for Collaboration in Community Center for Information Technology Services Center for English Language Education at Elementary Schools International Cooperation Center for the Teacher Education and Training Center for the Science of Prevention Education Center for School Support of Guidance and Counseling Center for Health and Counseling Services Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention)	748, Nakajima, Takashima, Naruto-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-8502	Phone 088-687-6000 FAX 088-687-6040
Dormitories	99-7, Nakajima, Takashima, Naruto-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-0051	
University Attached Kindergarten	2-11-1, Minami-maegawa-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0808	Phone 088-652-2349 FAX 088-625-1995
University Attached Elementary School	1-1, Minami-maegawa-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0808	Phone 088-623-0205 FAX 088-655-6414
University Attached Lower Secondary School	1-31, Naka-yoshino-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0804	Phone 088-622-3852 FAX 088-652-2364
University Attached School for Special Needs Education	2-1, Kami-yoshino-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0803	Phone 088-653-0151 FAX 088-625-1992
Residence for Faculty and Staff	168-2, Nishibiraki, Awazu, Satoura-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-0022	

When attempting telephone/FAX access to the university from outside of Japan, enter Japan's country code "81" and take "0" out from the city code. For example, the phone number of the university from overseas is 81-88-687-6000.



教育の一番札所



国立大学法人

鳴門教育大学

「教育の一番札所」

標語は、「教員養成は鳴門から、そして全国へ」という意を込め、
本学としての使命と責任を明らかにするため、「教育の一番札所」
とした。

発行 鳴門教育大学経営企画部
〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
TEL 088-687-6000（代表）
URL <http://www.naruto-u.ac.jp/>

Published by Department of Management planning,
Naruto University of Education